

匝瑳市市民協働指針策定のための市民意識調査

結果報告書

平成 27 年 9 月

匝 瑳 市

目 次

I	調査の目的と実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
3	報告書のみかた	1
4	調査の配布・回収状況からみた調査信頼度	2
II	調査結果	3
II-1	回答者について	3
II-2	地域活動への参加状況について	13
II-3	協働に対する考え方について	29
II-4	まちづくりへの関心・協働の認知度からみる考察	39
II-5	その他の回答及び自由意見	45
III	アンケート調査票	65

I 調査の目的と実施概要

1 調査の目的

市民協働によるまちづくりのあり方や方向性を示す「匝瑳市市民協働指針」を策定するにあたり、市民の意見や考え方等を把握し、協働指針の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の概要

- 調査対象：市内在住 16 歳以上の市民の方 2,000 名（無作為抽出）
- 調査期間：平成 27 年 6 月 2 日 ～ 平成 27 年 6 月 16 日
- 調査方法：郵送配付・回収
- 配布・回収：

種別	配布数	回収数	回収率
市民	2,000 票	701 票	35.1%

3 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100% とし、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100% を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。

- 母数が 100 未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

4 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度

本調査の有効回答数（701 票）は、対象となる集団（16 歳以上の市民、34,011 人）に対し、統計学上で一般的に使用される条件（信頼度 95%、標準誤差 5%）を想定した標本数（380 票）を上回ることから、調査結果は十分に信頼できるとみなすことができます。

■ 社会調査信頼度 95% の計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E}{k}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

※ n : サンプル数

N : 全体の人数（母集団）

E : 許容できる誤差の範囲

P : 母比率 = 0.5 （50%のときに最大のサンプル数となるため）

k : 信頼度係数 = 1.96 （通常、信頼度 95%を基準とするため）

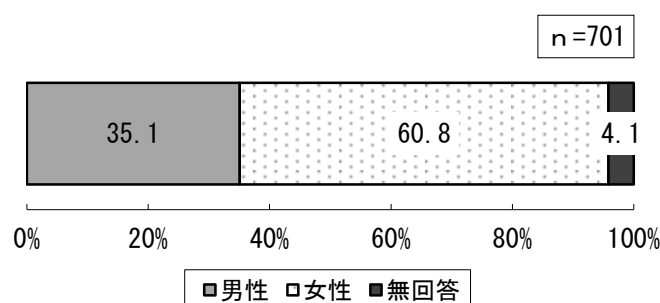
II 調査結果

II-1. 回答者について

問1 あなた自身について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 性別

○ 性別は、「女性」60.8%、「男性」35.1%。



○ 年代が上がるほど、「女性」の割合が高くなっている。

○ 豊栄地区、須賀地区、椿海地区、栄地区等では、他の地区と比べて「女性」の割合が高い。

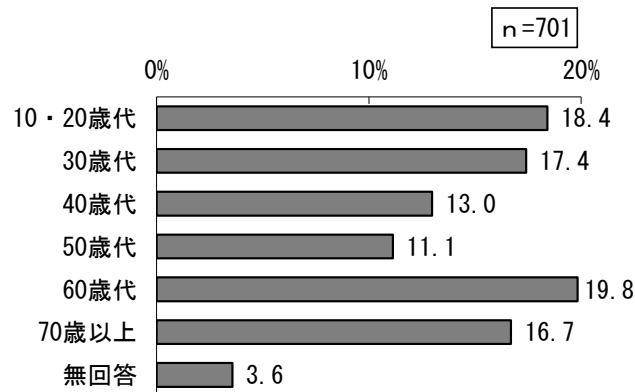
○ 県内他市町村及び県外出身者では、他と比べて「女性」の割合が高い。

		合計	男性	女性	無回答
全体		701	246	426	29
		100.0	35.1	60.8	4.1
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129	68	61	0
		100.0	52.7	47.3	0.0
	30歳代	122	51	70	1
		100.0	41.8	57.4	0.8
	40歳代	91	35	55	1
		100.0	38.5	60.4	1.1
	50歳代	78	27	51	0
	100.0	34.6	65.4	0.0	
60歳代	139	40	98	1	
	100.0	28.8	70.5	0.7	
70歳以上	117	25	90	2	
	100.0	21.4	76.9	1.7	

		合計	男性	女性	無回答	
全体		701 100.0	246 35.1	426 60.8	29 4.1	
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	16 48.5	16 48.5	1 3.0	
	商工・サービス・飲食・自由業	70 100.0	37 52.9	32 45.7	1 1.4	
	会社員・団体職員・公務員	196 100.0	104 53.1	90 45.9	2 1.0	
	学生	55 100.0	28 50.9	27 49.1	0 0.0	
	家事（パートタイム含む）	124 100.0	3 2.4	121 97.6	0 0.0	
	無職	155 100.0	44 28.4	111 71.6	0 0.0	
	その他	40 100.0	11 27.5	28 70.0	1 2.5	
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	53 42.4	72 57.6	0 0.0
豊栄地区		74 100.0	20 27.0	51 68.9	3 4.1	
須賀地区		50 100.0	11 22.0	39 78.0	0 0.0	
匠瑳地区		58 100.0	27 46.6	30 51.7	1 1.7	
豊和地区		37 100.0	16 43.2	21 56.8	0 0.0	
吉田地区		21 100.0	8 38.1	13 61.9	0 0.0	
飯高地区		23 100.0	9 39.1	14 60.9	0 0.0	
共興地区		39 100.0	16 41.0	22 56.4	1 2.6	
平和地区		51 100.0	18 35.3	33 64.7	0 0.0	
椿海地区		79 100.0	25 31.6	54 68.4	0 0.0	
野田地区		67 100.0	26 38.8	41 61.2	0 0.0	
栄地区		45 100.0	14 31.1	31 68.9	0 0.0	
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市内に住んでいる	238 100.0	111 46.6	125 52.5	2 0.8
		匠瑳市の出身だが、市外での居住経験がある	185 100.0	75 40.5	108 58.4	2 1.1
	県内の他の市町村出身である	174 100.0	37 21.3	137 78.7	0 0.0	
	県外の出身である	80 100.0	23 28.8	56 70.0	1 1.3	

(2) 年齢

○ 年齢は、「60歳代」19.8%が最も多く、次いで「10・20歳代」18.4%、「30歳代」17.4%と続く。



○ 男性では30歳代以下の割合が高く、60歳代以上では女性の割合が高い。

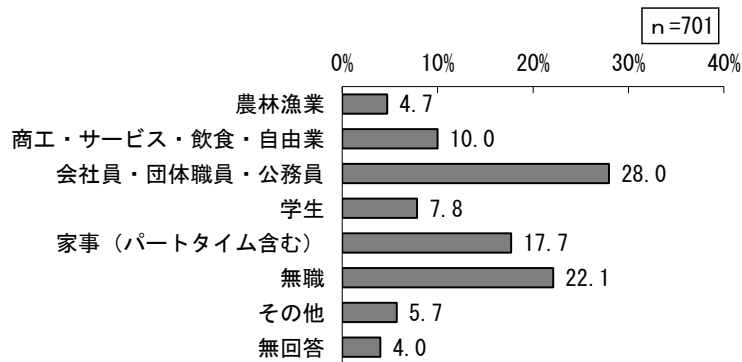
○ その他、職業別、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		701 100.0	129 18.4	122 17.4	91 13.0	78 11.1	139 19.8	117 16.7	25 3.6
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	68 27.6	51 20.7	35 14.2	27 11.0	40 16.3	25 10.2	0 0.0
	女性	426 100.0	61 14.3	70 16.4	55 12.9	51 12.0	98 23.0	90 21.1	1 0.2
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	4 12.1	2 6.1	2 6.1	7 21.2	7 21.2	11 33.3	0 0.0
	商工・サービス・飲食・自由業	70 100.0	9 12.9	18 25.7	14 20.0	7 10.0	14 20.0	8 11.4	0 0.0
	会社員・団体職員・公務員	196 100.0	48 24.5	61 31.1	34 17.3	29 14.8	19 9.7	4 2.0	1 0.5
	学生	55 100.0	55 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	家事（パートタイム含む）	124 100.0	4 3.2	28 22.6	29 23.4	20 16.1	31 25.0	12 9.7	0 0.0
	無職	155 100.0	4 2.6	7 4.5	5 3.2	7 4.5	57 36.8	75 48.4	0 0.0
	その他	40 100.0	4 10.0	6 15.0	7 17.5	7 17.5	7 22.5	9 17.5	0 0.0

		合計	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		701 100.0	129 18.4	122 17.4	91 13.0	78 11.1	139 19.8	117 16.7	25 3.6
問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	19 15.2	18 14.4	18 14.4	12 9.6	33 26.4	25 20.0	0 0.0
	豊栄地区	74 100.0	10 13.5	17 23.0	15 20.3	9 12.2	11 14.9	12 16.2	0 0.0
	須賀地区	50 100.0	5 10.0	8 16.0	5 10.0	6 12.0	15 30.0	11 22.0	0 0.0
	匝瑳地区	58 100.0	16 27.6	10 17.2	4 6.9	6 10.3	9 15.5	13 22.4	0 0.0
	豊和地区	37 100.0	8 21.6	4 10.8	7 18.9	7 18.9	5 13.5	6 16.2	0 0.0
	吉田地区	21 100.0	5 23.8	2 9.5	2 9.5	6 28.6	1 4.8	5 23.8	0 0.0
	飯高地区	23 100.0	1 4.3	3 13.0	3 13.0	2 8.7	9 39.1	5 21.7	0 0.0
	共興地区	39 100.0	6 15.4	9 23.1	5 12.8	4 10.3	11 28.2	4 10.3	0 0.0
	平和地区	51 100.0	11 21.6	7 13.7	7 13.7	6 11.8	9 17.6	11 21.6	0 0.0
	椿海地区	79 100.0	16 20.3	17 21.5	9 11.4	12 15.2	14 17.7	10 12.7	1 1.3
	野田地区	67 100.0	18 26.9	16 23.9	10 14.9	4 6.0	10 14.9	9 13.4	0 0.0
	栄地区	45 100.0	13 28.9	8 17.8	6 13.3	3 6.7	10 22.2	5 11.1	0 0.0
	問1-(5) 居住状況	生まれてからずっと市内に住んでいる	238 100.0	75 31.5	44 18.5	18 7.6	22 9.2	41 17.2	38 16.0
匝瑳市の出身だが、市外での居住経験がある		185 100.0	33 17.8	36 19.5	32 17.3	21 11.4	43 23.2	20 10.8	0 0.0
県内の他の市町村出身である		174 100.0	19 10.9	28 16.1	26 14.9	25 14.4	36 20.7	40 23.0	0 0.0
県外の出身である		80 100.0	2 2.5	14 17.5	15 18.8	10 12.5	19 23.8	19 23.8	1 1.3

(3) 職業

○ 職業は、「会社員・団体職員・公務員」28.0%が最も多く、次いで「無職」22.1%、「家事（パートタイム含む）」17.7%と続く。



○ 男性では「会社員・団体職員・公務員」の割合が4割と高く、女性では「家事（パートタイム含む）」の割合が最も高くなっている。

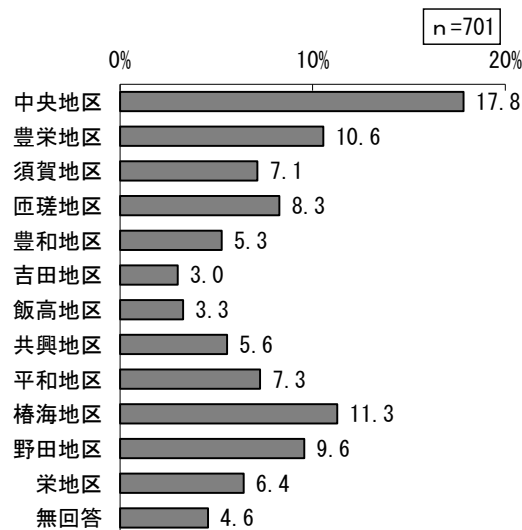
○ その他、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	農林漁業	商工・サービス・飲食・自由業	会社員・団体職員・公務員	学生	家事（パートタイム含む）	無職	その他	無回答
全体		701 100.0	33 4.7	70 10.0	196 28.0	55 7.8	124 17.7	155 22.1	40 5.7	28 4.0
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	16 6.5	37 15.0	104 42.3	28 11.4	3 1.2	44 17.9	11 4.5	3 1.2
	女性	426 100.0	16 3.8	32 7.5	90 21.1	27 6.3	121 28.4	111 26.1	28 6.6	1 0.2
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129 100.0	4 3.1	9 7.0	48 37.2	55 42.6	4 3.1	4 3.1	4 3.1	1 0.8
	30歳代	122 100.0	2 1.6	18 14.8	61 50.0	0 0.0	28 23.0	7 5.7	6 4.9	0 0.0
	40歳代	91 100.0	2 2.2	14 15.4	34 37.4	0 0.0	29 31.9	5 5.5	7 7.7	0 0.0
	50歳代	78 100.0	7 9.0	7 9.0	29 37.2	0 0.0	20 25.6	7 9.0	7 9.0	1 1.3
	60歳代	139 100.0	7 5.0	14 10.1	19 13.7	0 0.0	31 22.3	57 41.0	9 6.5	2 1.4
	70歳以上	117 100.0	11 9.4	8 6.8	4 3.4	0 0.0	12 10.3	75 64.1	7 6.0	0 0.0

		合計	農林漁業	商工・サービス・飲食・自由業	会社員・団体職員・公務員	学生	家事(パートタイム含む)	無職	その他	無回答	
全体		701 100.0	33 4.7	70 10.0	196 28.0	55 7.8	124 17.7	155 22.1	40 5.7	28 4.0	
問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	3 2.4	20 16.0	37 29.6	10 8.0	14 11.2	33 26.4	8 6.4	0 0.0	
	豊栄地区	74 100.0	1 1.4	9 12.2	22 29.7	3 4.1	21 28.4	12 16.2	5 6.8	1 1.4	
	須賀地区	50 100.0	1 2.0	5 10.0	10 20.0	3 6.0	9 18.0	17 34.0	5 10.0	0 0.0	
	匠瑳地区	58 100.0	1 1.7	3 5.2	16 27.6	9 15.5	8 13.8	17 29.3	3 5.2	1 1.7	
	豊和地区	37 100.0	3 8.1	4 10.8	9 24.3	3 8.1	8 21.6	8 21.6	2 5.4	0 0.0	
	吉田地区	21 100.0	2 9.5	3 14.3	6 28.6	2 9.5	4 19.0	3 14.3	1 4.8	0 0.0	
	飯高地区	23 100.0	4 17.4	1 4.3	3 13.0	1 4.3	5 21.7	7 30.4	2 8.7	0 0.0	
	共興地区	39 100.0	4 10.3	2 5.1	13 33.3	0 0.0	7 17.9	11 28.2	1 2.6	1 2.6	
	平和地区	51 100.0	1 2.0	3 5.9	18 35.3	3 5.9	8 15.7	17 33.3	1 2.0	0 0.0	
	椿海地区	79 100.0	3 3.8	4 5.1	29 36.7	6 7.6	20 25.3	12 15.2	5 6.3	0 0.0	
	野田地区	67 100.0	4 6.0	14 20.9	21 31.3	8 11.9	10 14.9	8 11.9	2 3.0	0 0.0	
	菜地区	45 100.0	6 13.3	1 2.2	11 24.4	7 15.6	8 17.8	7 15.6	5 11.1	0 0.0	
	問1-(5) 居住状況	生まれてからずっと市内に住んでいる	238 100.0	17 7.1	17 7.1	75 31.5	40 16.8	31 13.0	44 18.5	11 4.6	3 1.3
		匠瑳市の出身だが、市外での居住経験がある	185 100.0	9 4.9	31 16.8	64 34.6	8 4.3	26 14.1	32 17.3	14 7.6	1 0.5
県内の他の市町村出身である		174 100.0	7 4.0	13 7.5	44 25.3	6 3.4	42 24.1	54 31.0	8 4.6	0 0.0	
県外の出身である		80 100.0	0 0.0	9 11.3	13 16.3	1 1.3	25 31.3	25 31.3	7 8.8	0 0.0	

(4) 居住地区

○ 居住地区は、「中央地区」17.8%が最も多く、次いで「樺海地区」11.3%、「豊栄地区」10.6%と続く。



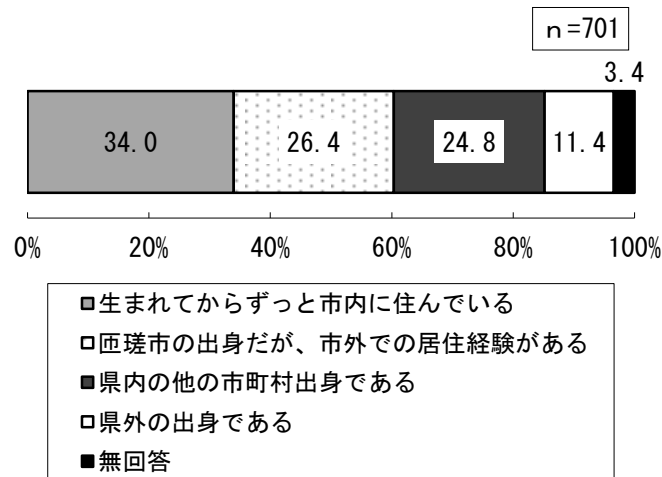
○ 性別、年齢別、職業別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	中央地区	豊栄地区	須賀地区	匠瑳地区	豊和地区	吉田地区	飯高地区	共興地区	平和地区	樺海地区	野田地区	栄地区	無回答
全体		701 100.0	125 17.8	74 10.6	50 7.1	58 8.3	37 5.3	21 3.0	23 3.3	39 5.6	51 7.3	79 11.3	67 9.6	45 6.4	32 4.6
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	53 21.5	20 8.1	11 4.5	27 11.0	16 6.5	8 3.3	9 3.7	16 6.5	18 7.3	25 10.2	26 10.6	14 5.7	3 1.2
	女性	426 100.0	72 16.9	51 12.0	39 9.2	30 7.0	21 4.9	13 3.1	14 3.3	22 5.2	33 7.7	54 12.7	41 9.6	31 7.3	5 1.2
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129 100.0	19 14.7	10 7.8	5 3.9	16 12.4	8 6.2	5 3.9	1 0.8	6 4.7	11 8.5	16 12.4	18 14.0	13 10.1	1 0.8
	30歳代	122 100.0	18 14.8	17 13.9	8 6.6	10 8.2	4 3.3	2 1.6	3 2.5	9 7.4	7 5.7	17 13.9	16 13.1	8 6.6	3 2.5
	40歳代	91 100.0	18 19.8	15 16.5	5 5.5	4 4.4	7 7.7	2 2.2	3 3.3	5 5.5	7 7.7	9 9.9	10 11.0	6 6.6	0 0.0
	50歳代	78 100.0	12 15.4	9 11.5	6 7.7	6 7.7	7 9.0	6 7.7	2 2.6	4 5.1	6 7.7	12 15.4	4 5.1	3 3.8	1 1.3
	60歳代	139 100.0	33 23.7	11 7.9	15 10.8	9 6.5	5 3.6	1 0.7	9 6.5	11 7.9	9 6.5	14 10.1	10 7.2	10 7.2	2 1.4
	70歳以上	117 100.0	25 21.4	12 10.3	11 9.4	13 11.1	6 5.1	5 4.3	5 4.3	4 3.4	11 9.4	10 8.5	9 7.7	5 4.3	1 0.9

	合計	中央 地区	豊 栄 地区	須 賀 地区	匠 瑛 地区	豊 和 地区	吉 田 地区	飯 高 地区	共 興 地区	平 和 地区	椿 海 地区	野 田 地区	栄 地 区	無 回 答	
全体	701 100.0	125 17.8	74 10.6	50 7.1	58 8.3	37 5.3	21 3.0	23 3.3	39 5.6	51 7.3	79 11.3	67 9.6	45 6.4	32 4.6	
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	3 9.1	1 3.0	1 3.0	1 3.0	3 9.1	2 6.1	4 12.1	4 12.1	1 3.0	3 9.1	4 12.1	6 18.2	0 0.0
	商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	20 28.6	9 12.9	5 7.1	3 4.3	4 5.7	3 4.3	1 1.4	2 2.9	3 4.3	4 5.7	14 20.0	1 1.4	1 1.4
	会社員・団体職員・公 務員	196 100.0	37 18.9	22 11.2	10 5.1	16 8.2	9 4.6	6 3.1	3 1.5	13 6.6	18 9.2	29 14.8	21 10.7	11 5.6	1 0.5
	学生	55 100.0	10 18.2	3 5.5	3 5.5	9 16.4	3 5.5	2 3.6	1 1.8	0 0.0	3 5.5	6 10.9	8 14.5	7 12.7	0 0.0
	家事（パートタイム含 む）	124 100.0	14 11.3	21 16.9	9 7.3	8 6.5	8 6.5	4 3.2	5 4.0	7 5.6	8 6.5	20 16.1	10 8.1	8 6.5	2 1.6
	無職	155 100.0	33 21.3	12 7.7	17 11.0	17 11.0	8 5.2	3 1.9	7 4.5	11 7.1	17 11.0	12 7.7	8 5.2	7 4.5	3 1.9
	その他	40 100.0	8 20.0	5 12.5	5 12.5	3 7.5	2 5.0	1 2.5	2 5.0	1 2.5	1 2.5	5 12.5	2 5.0	5 12.5	0 0.0
	問1-(5) 居住状況	生まれてからずっと市 内に住んでいる	238 100.0	42 17.6	20 8.4	14 5.9	21 8.8	14 5.9	9 3.8	10 4.2	15 6.3	15 6.3	28 11.8	29 12.2	19 8.0
匠瑛市の出身だが、市 外での居住経験がある		185 100.0	45 24.3	18 9.7	13 7.0	16 8.6	11 5.9	5 2.7	5 2.7	14 7.6	11 5.9	15 8.1	23 12.4	7 3.8	2 1.1
県内の他の市町村出身 である		174 100.0	28 16.1	20 11.5	17 9.8	7 4.0	11 6.3	5 2.9	7 4.0	9 5.2	18 10.3	27 15.5	10 5.7	11 6.3	4 2.3
県外の出身である		80 100.0	10 12.5	16 20.0	6 7.5	14 17.5	1 1.3	2 2.5	1 1.3	1 1.3	7 8.8	9 11.3	5 6.3	8 10.0	0 0.0

(5) 現在の地域に住んでいる状況

○現在の地域に住んでいる状況は、「生まれてからずっと市内に住んでいる」34.0%が最も多く、次いで「匠瑛市の出身だが、市外での居住経験がある」26.4%、「県内の他の市町村出身である」24.8%と続く。



○男性では「生まれてからずっと市内に住んでいる」の割合が高く、女性では「県内の他の市町村出身である」の割合が最も高い。

○その他、年齢別、職業別、居住地区別クロス集計の結果は以下のとおり。

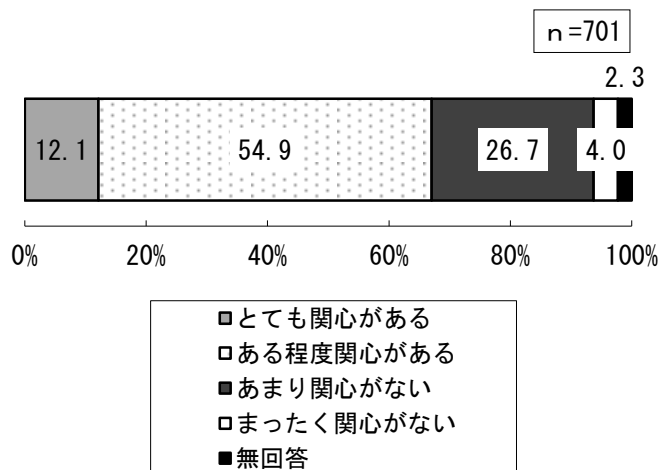
		合計	生まれてからずっと市内に住んでいる	匠瑛市の出身だが、市外での居住経験がある	県内の他の市町村出身である	県外出身である	無回答
全体		701	238	185	174	80	24
		100.0	34.0	26.4	24.8	11.4	3.4
問1-(1) 性別	男性	246	111	75	37	23	0
		100.0	45.1	30.5	15.0	9.3	0.0
	女性	426	125	108	137	56	0
		100.0	29.3	25.4	32.2	13.1	0.0
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129	75	33	19	2	0
		100.0	58.1	25.6	14.7	1.6	0.0
	30歳代	122	44	36	28	14	0
		100.0	36.1	29.5	23.0	11.5	0.0
	40歳代	91	18	32	26	15	0
		100.0	19.8	35.2	28.6	16.5	0.0
	50歳代	78	22	21	25	10	0
	100.0	28.2	26.9	32.1	12.8	0.0	
60歳代	139	41	43	36	19	0	
	100.0	29.5	30.9	25.9	13.7	0.0	
70歳以上	117	38	20	40	19	0	
	100.0	32.5	17.1	34.2	16.2	0.0	

	合計	生まれてからずっと市内に住んでいる	匝瑳市の出身だが、市外での居住経験がある	県内の他の市町村出身である	県外の出身である	無回答
全体	701 100.0	238 34.0	185 26.4	174 24.8	80 11.4	24 3.4
問1-(3) 職業						
農林漁業	33 100.0	17 51.5	9 27.3	7 21.2	0 0.0	0 0.0
商工・サービス・飲食・自由業	70 100.0	17 24.3	31 44.3	13 18.6	9 12.9	0 0.0
会社員・団体職員・公務員	196 100.0	75 38.3	64 32.7	44 22.4	13 6.6	0 0.0
学生	55 100.0	40 72.7	8 14.5	6 10.9	1 1.8	0 0.0
家事（パートタイム含む）	124 100.0	31 25.0	26 21.0	42 33.9	25 20.2	0 0.0
無職	155 100.0	44 28.4	32 20.6	54 34.8	25 16.1	0 0.0
その他	40 100.0	11 27.5	14 35.0	8 20.0	7 17.5	0 0.0
問1-(4) 居住地区						
中央地区	125 100.0	42 33.6	45 36.0	28 22.4	10 8.0	0 0.0
豊栄地区	74 100.0	20 27.0	18 24.3	20 27.0	16 21.6	0 0.0
須賀地区	50 100.0	14 28.0	13 26.0	17 34.0	6 12.0	0 0.0
匝瑳地区	58 100.0	21 36.2	16 27.6	7 12.1	14 24.1	0 0.0
豊和地区	37 100.0	14 37.8	11 29.7	11 29.7	1 2.7	0 0.0
吉田地区	21 100.0	9 42.9	5 23.8	5 23.8	2 9.5	0 0.0
飯高地区	23 100.0	10 43.5	5 21.7	7 30.4	1 4.3	0 0.0
共興地区	39 100.0	15 38.5	14 35.9	9 23.1	1 2.6	0 0.0
平和地区	51 100.0	15 29.4	11 21.6	18 35.3	7 13.7	0 0.0
椿海地区	79 100.0	28 35.4	15 19.0	27 34.2	9 11.4	0 0.0
野田地区	67 100.0	29 43.3	23 34.3	10 14.9	5 7.5	0 0.0
栄地区	45 100.0	19 42.2	7 15.6	11 24.4	8 17.8	0 0.0

II-2. 地域活動への参加状況について

問2 あなたは、まちづくりや地域づくりに関心がありますか。(1つに○)

○まちづくりや地域づくりへの関心は、「ある程度関心がある」54.9%が最も多く、次いで「あまり関心がない」26.7%、「とても関心がある」12.1%と続く。



○30歳代以下では、「(あまり+まったく)関心がない」の割合が4割前後と、他の年代と比べて高くなっています。

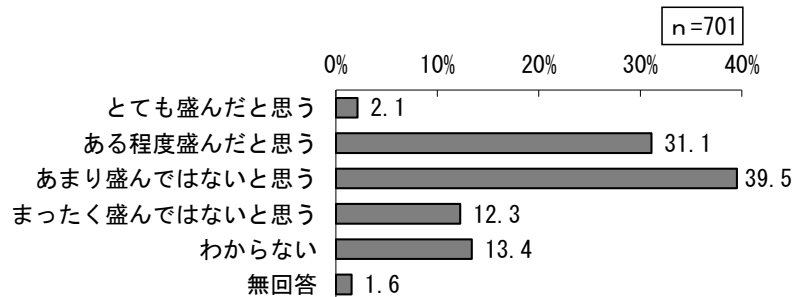
○その他、性別、職業、居住地区、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	とても関心 がある	ある程度関 心がある	あまり関心 がない	まったく関 心がない	無回答
	全体	701	85	385	187	28	16
		100.0	12.1	54.9	26.7	4.0	2.3
問1-(1) 性別	男性	246	35	121	69	18	3
		100.0	14.2	49.2	28.0	7.3	1.2
	女性	426	46	247	111	9	13
		100.0	10.8	58.0	26.1	2.1	3.1
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129	10	64	44	10	1
		100.0	7.8	49.6	34.1	7.8	0.8
	30歳代	122	11	60	41	7	3
		100.0	9.0	49.2	33.6	5.7	2.5
	40歳代	91	11	55	22	2	1
		100.0	12.1	60.4	24.2	2.2	1.1
	50歳代	78	6	41	25	2	4
	100.0	7.7	52.6	32.1	2.6	5.1	
60歳代	139	19	82	31	3	4	
	100.0	13.7	59.0	22.3	2.2	2.9	
70歳以上	117	25	69	17	3	3	
	100.0	21.4	59.0	14.5	2.6	2.6	

		合計	とても関 心がある	ある程度関 心がある	あまり関 心がない	まったく関 心がない	無回答	
	全体	701 100.0	85 12.1	385 54.9	187 26.7	28 4.0	16 2.3	
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	5 15.2	21 63.6	6 18.2	1 3.0	0 0.0	
	商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	12 17.1	38 54.3	16 22.9	3 4.3	1 1.4	
	会社員・団体職員・公 務員	196 100.0	21 10.7	102 52.0	54 27.6	13 6.6	6 3.1	
	学生	55 100.0	4 7.3	28 50.9	21 38.2	2 3.6	0 0.0	
	家事（パートタイム含 む）	124 100.0	16 12.9	74 59.7	29 23.4	1 0.8	4 3.2	
	無職	155 100.0	18 11.6	84 54.2	44 28.4	5 3.2	4 2.6	
	その他	40 100.0	6 15.0	20 50.0	11 27.5	2 5.0	1 2.5	
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	15 12.0	74 59.2	26 20.8	7 5.6	3 2.4
豊栄地区		74 100.0	13 17.6	38 51.4	21 28.4	0 0.0	2 2.7	
須賀地区		50 100.0	8 16.0	24 48.0	13 26.0	3 6.0	2 4.0	
匝瑳地区		58 100.0	7 12.1	27 46.6	18 31.0	4 6.9	2 3.4	
豊和地区		37 100.0	5 13.5	18 48.6	10 27.0	2 5.4	2 5.4	
吉田地区		21 100.0	3 14.3	10 47.6	7 33.3	1 4.8	0 0.0	
飯高地区		23 100.0	3 13.0	16 69.6	3 13.0	1 4.3	0 0.0	
共興地区		39 100.0	4 10.3	22 56.4	11 28.2	2 5.1	0 0.0	
平和地区		51 100.0	5 9.8	23 45.1	22 43.1	0 0.0	1 2.0	
樺海地区		79 100.0	6 7.6	43 54.4	25 31.6	3 3.8	2 2.5	
野田地区		67 100.0	7 10.4	42 62.7	13 19.4	4 6.0	1 1.5	
栄地区		45 100.0	5 11.1	28 62.2	11 24.4	0 0.0	1 2.2	
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市 内に住んでいる	238 100.0	27 11.3	122 51.3	74 31.1	13 5.5	2 0.8
		匝瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	185 100.0	24 13.0	108 58.4	41 22.2	8 4.3	4 2.2
	県内の他の市町村出身 である	174 100.0	21 12.1	95 54.6	49 28.2	3 1.7	6 3.4	
	県外の出身である	80 100.0	10 12.5	46 57.5	17 21.3	3 3.8	4 5.0	

問3 あなたが住んでいる地域は、地域活動が盛んな地域だと思いますか。(1つに○)

○ 居住地域において地域活動が盛んかどうかは、「あまり盛んではないと思う」39.5%が最も多く、次いで「ある程度盛んだと思う」31.1%、「わからない」13.4%と続く。



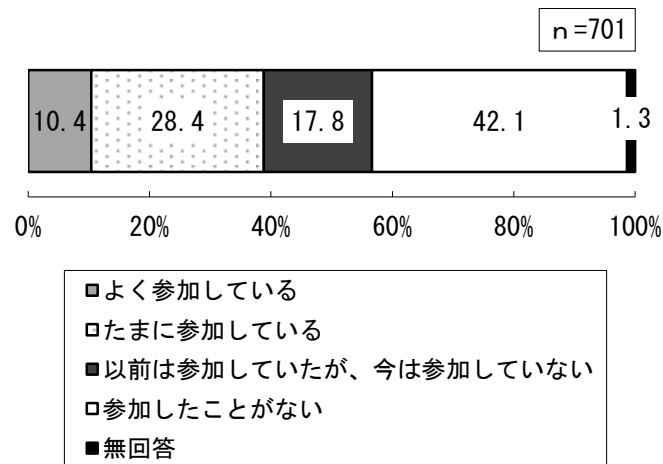
○ 性別、年齢別、職業別、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は、以下のとおり。

		合計	とても盛んだと思う	ある程度盛んだと思う	あまり盛んではないと思う	まったく盛んではないと思う	わからない	無回答
	全体	701 100.0	15 2.1	218 31.1	277 39.5	86 12.3	94 13.4	11 1.6
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	9 3.7	81 32.9	87 35.4	31 12.6	36 14.6	2 0.8
	女性	426 100.0	5 1.2	124 29.1	180 42.3	52 12.2	56 13.1	9 2.1
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129 100.0	4 3.1	40 31.0	51 39.5	10 7.8	24 18.6	0 0.0
	30歳代	122 100.0	3 2.5	39 32.0	42 34.4	22 18.0	15 12.3	1 0.8
	40歳代	91 100.0	3 3.3	28 30.8	34 37.4	14 15.4	11 12.1	1 1.1
	50歳代	78 100.0	1 1.3	25 32.1	29 37.2	12 15.4	10 12.8	1 1.3
	60歳代	139 100.0	1 0.7	39 28.1	57 41.0	19 13.7	19 13.7	4 2.9
	70歳以上	117 100.0	2 1.7	36 30.8	55 47.0	7 6.0	13 11.1	4 3.4

		合計	とても盛 んだと思 う	ある程度 盛んだと 思う	あまり盛 んではな いと思う	まったく 盛んでは ないと思 う	わからな い	無回答	
	全体	701 100.0	15 2.1	218 31.1	277 39.5	86 12.3	94 13.4	11 1.6	
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	1 3.0	18 54.5	10 30.3	1 3.0	1 3.0	2 6.1	
	商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	1 1.4	29 41.4	21 30.0	9 12.9	8 11.4	2 2.9	
	会社員・団体職員・公 務員	196 100.0	6 3.1	51 26.0	74 37.8	32 16.3	29 14.8	4 2.0	
	学生	55 100.0	2 3.6	18 32.7	25 45.5	2 3.6	8 14.5	0 0.0	
	家事（パートタイム含 む）	124 100.0	1 0.8	39 31.5	50 40.3	16 12.9	18 14.5	0 0.0	
	無職	155 100.0	3 1.9	40 25.8	68 43.9	19 12.3	22 14.2	3 1.9	
	その他	40 100.0	0 0.0	11 27.5	18 45.0	5 12.5	6 15.0	0 0.0	
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	5 4.0	43 34.4	48 38.4	13 10.4	13 10.4	3 2.4
豊栄地区		74 100.0	2 2.7	18 24.3	33 44.6	12 16.2	9 12.2	0 0.0	
須賀地区		50 100.0	1 2.0	14 28.0	14 28.0	9 18.0	10 20.0	2 4.0	
匠瑳地区		58 100.0	1 1.7	19 32.8	22 37.9	6 10.3	10 17.2	0 0.0	
豊和地区		37 100.0	1 2.7	16 43.2	10 27.0	2 5.4	6 16.2	2 5.4	
吉田地区		21 100.0	1 4.8	9 42.9	7 33.3	1 4.8	2 9.5	1 4.8	
飯高地区		23 100.0	0 0.0	10 43.5	10 43.5	2 8.7	1 4.3	0 0.0	
共興地区		39 100.0	1 2.6	14 35.9	16 41.0	4 10.3	4 10.3	0 0.0	
平和地区		51 100.0	0 0.0	8 15.7	22 43.1	9 17.6	10 19.6	2 3.9	
椿海地区		79 100.0	1 1.3	17 21.5	34 43.0	11 13.9	15 19.0	1 1.3	
野田地区		67 100.0	0 0.0	20 29.9	30 44.8	11 16.4	6 9.0	0 0.0	
栄地区		45 100.0	1 2.2	15 33.3	20 44.4	4 8.9	5 11.1	0 0.0	
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市 内に住んでいる	238 100.0	7 2.9	66 27.7	96 40.3	39 16.4	29 12.2	1 0.4
		匠瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	185 100.0	2 1.1	68 36.8	70 37.8	19 10.3	23 12.4	3 1.6
	県内の他の市町村出身 である	174 100.0	4 2.3	50 28.7	71 40.8	16 9.2	28 16.1	5 2.9	
	県外の出身である	80 100.0	1 1.3	23 28.8	31 38.8	10 12.5	13 16.3	2 2.5	

問4 あなたは、地域の活動に参加していますか。(1つに○)

○ 地域活動への参加は、「参加したことがない」42.1%が最も多く、次いで「たまに参加している」28.4%、「以前は参加していたが、今は参加していない」17.8%と続く。



○ 農林漁業従事者では、「(よく+たまに)参加している」の割合が6割近くと高い。

○ その他、性別、年齢別、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

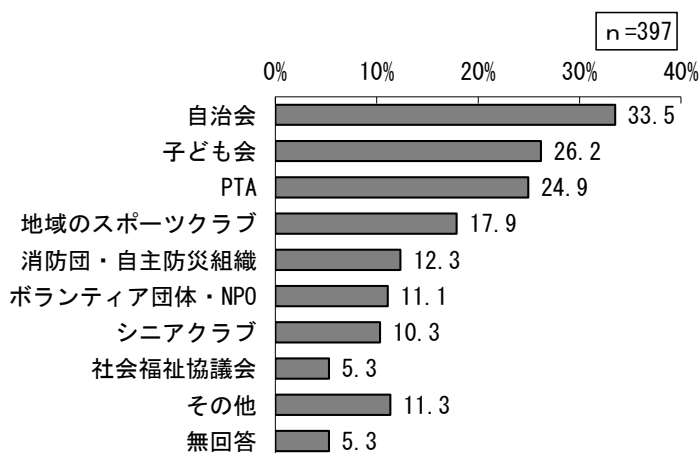
		合計	よく参加している	たまに参加している	以前は参加していたが、今は参加していない	参加したことがない	無回答
	全体	701 100.0	73 10.4	199 28.4	125 17.8	295 42.1	9 1.3
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	33 13.4	61 24.8	41 16.7	109 44.3	2 0.8
	女性	426 100.0	36 8.5	128 30.0	81 19.0	174 40.8	7 1.6
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129 100.0	4 3.1	26 20.2	28 21.7	71 55.0	0 0.0
	30歳代	122 100.0	18 14.8	30 24.6	12 9.8	61 50.0	1 0.8
	40歳代	91 100.0	8 8.8	33 36.3	8 8.8	41 45.1	1 1.1
	50歳代	78 100.0	8 10.3	27 34.6	18 23.1	24 30.8	1 1.3
	60歳代	139 100.0	13 9.4	45 32.4	34 24.5	45 32.4	2 1.4
	70歳以上	117 100.0	19 16.2	29 24.8	22 18.8	43 36.8	4 3.4

		合計	よく参加し ている	たまに参加 している	以前は参加 していた が、今は参 加していな	参加したこ とがない	無回答	
	全体	701 100.0	73 10.4	199 28.4	125 17.8	295 42.1	9 1.3	
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	7 21.2	12 36.4	6 18.2	7 21.2	1 3.0	
	商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	7 10.0	15 21.4	15 21.4	33 47.1	0 0.0	
	会社員・団体職員・公 務員	196 100.0	23 11.7	52 26.5	27 13.8	90 45.9	4 2.0	
	学生	55 100.0	1 1.8	11 20.0	17 30.9	26 47.3	0 0.0	
	家事（パートタイム含 む）	124 100.0	7 5.6	46 37.1	21 16.9	50 40.3	0 0.0	
	無職	155 100.0	20 12.9	36 23.2	32 20.6	63 40.6	4 2.6	
	その他	40 100.0	4 10.0	16 40.0	4 10.0	16 40.0	0 0.0	
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	16 12.8	32 25.6	36 28.8	39 31.2	2 1.6
豊栄地区		74 100.0	9 12.2	25 33.8	9 12.2	30 40.5	1 1.4	
須賀地区		50 100.0	8 16.0	10 20.0	5 10.0	26 52.0	1 2.0	
匝瑳地区		58 100.0	4 6.9	11 19.0	8 13.8	34 58.6	1 1.7	
豊和地区		37 100.0	5 13.5	10 27.0	4 10.8	17 45.9	1 2.7	
吉田地区		21 100.0	3 14.3	6 28.6	1 4.8	11 52.4	0 0.0	
飯高地区		23 100.0	3 13.0	11 47.8	4 17.4	5 21.7	0 0.0	
共興地区		39 100.0	1 2.6	14 35.9	8 20.5	16 41.0	0 0.0	
平和地区		51 100.0	3 5.9	13 25.5	13 25.5	21 41.2	1 2.0	
樺海地区		79 100.0	8 10.1	17 21.5	12 15.2	41 51.9	1 1.3	
野田地区		67 100.0	5 7.5	24 35.8	11 16.4	27 40.3	0 0.0	
栄地区		45 100.0	4 8.9	14 31.1	11 24.4	15 33.3	1 2.2	
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市 内に住んでいる	238 100.0	29 12.2	62 26.1	47 19.7	98 41.2	2 0.8
		匝瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	185 100.0	19 10.3	47 25.4	34 18.4	83 44.9	2 1.1
		県内の他の市町村出身 である	174 100.0	13 7.5	56 32.2	31 17.8	71 40.8	3 1.7
	県外の出身である	80 100.0	9 11.3	25 31.3	10 12.5	34 42.5	2 2.5	

問 4-1 から問 4-3 は、問 4 で「(1~3) 参加している (していた)」と回答した方におうかがいします。

問 4-1 どのような団体等の活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

○ 参加している (していた) 団体等は、「自治会」33.5%が最も多く、次いで「子ども会」26.2%、「PTA」24.9%と続く。



○ 「自治会」のほかに、男性では「消防団・自主防災組織」、女性では「PTA」や「子ども会」の割合が高い。

○ 10・20歳代では、「子ども会」や「地域のスポーツクラブ」の割合が高い。

○ 豊栄地区では、「自治会」が6割近くと高い。

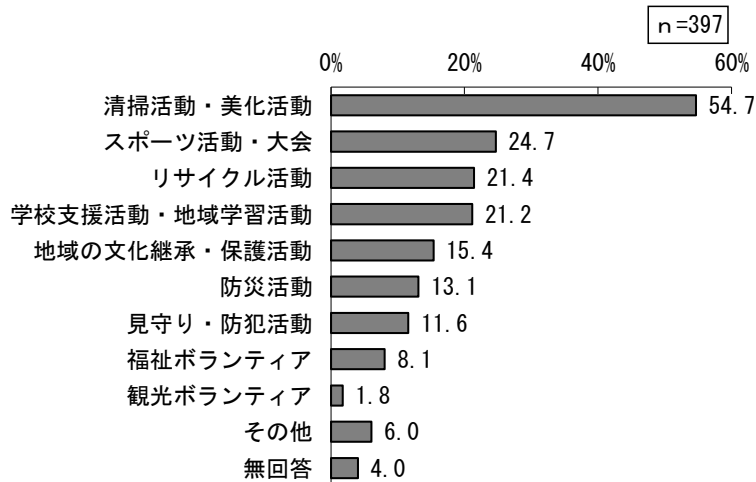
○ その他、職業別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	自治会	シニアクラブ	子ども会	社会福祉協議会	PTA	地域のスポーツクラブ	ボランティア団体・NPO	消防団・自主防災組織	その他	無回答
	全体	397 100.0	133 33.5	41 10.3	104 26.2	21 5.3	99 24.9	71 17.9	44 11.1	49 12.3	45 11.3	21 5.3
問1-(1) 性別	男性	135 100.0	51 37.8	6 4.4	21 15.6	5 3.7	14 10.4	29 21.5	13 9.6	46 34.1	15 11.1	2 1.5
	女性	245 100.0	76 31.0	34 13.9	78 31.8	14 5.7	79 32.2	40 16.3	30 12.2	2 0.8	30 12.2	18 7.3
問1-(2) 年齢	10・20歳代	58 100.0	11 19.0	0 0.0	26 44.8	0 0.0	3 5.2	22 37.9	5 8.6	2 3.4	4 6.9	4 6.9
	30歳代	60 100.0	19 31.7	0 0.0	20 33.3	0 0.0	22 36.7	5 8.3	3 5.0	19 31.7	8 13.3	1 1.7
	40歳代	49 100.0	23 46.9	0 0.0	21 42.9	0 0.0	22 44.9	11 22.4	5 10.2	5 10.2	4 8.2	0 0.0
	50歳代	53 100.0	22 41.5	0 0.0	12 22.6	0 0.0	16 30.2	7 13.2	5 9.4	7 13.2	9 17.0	2 3.8
	60歳代	92 100.0	35 38.0	14 15.2	12 13.0	9 9.8	17 18.5	13 14.1	16 17.4	7 7.6	8 8.7	10 10.9
	70歳以上	70 100.0	18 25.7	26 37.1	9 12.9	10 14.3	13 18.6	11 15.7	9 12.9	8 11.4	12 17.1	3 4.3

		合計	自治会	シニアクラブ	子ども会	社会福祉協議会	P T A	地域のスポーツクラブ	ボランティア団体・N P O	消防団・自主防災組織	その他	無回答	
	全体	397 100.0	133 33.5	41 10.3	104 26.2	21 5.3	99 24.9	71 17.9	44 11.1	49 12.3	45 11.3	21 5.3	
問1-(3) 職業	農林漁業	25 100.0	9 36.0	3 12.0	5 20.0	3 12.0	4 16.0	2 8.0	4 16.0	4 16.0	4 16.0	1 4.0	
	商工・サービス・飲食・自由業	37 100.0	9 24.3	6 16.2	11 29.7	2 5.4	7 18.9	7 18.9	4 10.8	8 21.6	4 10.8	1 2.7	
	会社員・団体職員・公務員	102 100.0	39 38.2	2 2.0	23 22.5	2 2.0	27 26.5	21 20.6	9 8.8	26 25.5	6 5.9	3 2.9	
	学生	29 100.0	6 20.7	0 0.0	20 69.0	0 0.0	0 0.0	9 31.0	1 3.4	0 0.0	2 6.9	2 6.9	
	家事（パートタイム含む）	74 100.0	27 36.5	7 9.5	25 33.8	4 5.4	31 41.9	10 13.5	11 14.9	1 1.4	9 12.2	6 8.1	
	無職	88 100.0	28 31.8	20 22.7	12 13.6	6 6.8	16 18.2	12 13.6	11 12.5	8 9.1	13 14.8	5 5.7	
	その他	24 100.0	9 37.5	2 8.3	4 16.7	2 8.3	8 33.3	7 29.2	2 8.3	1 4.2	6 25.0	2 8.3	
	問1-(4) 居住地区	中央地区	84 100.0	37 44.0	10 11.9	31 36.9	2 2.4	20 23.8	17 20.2	7 8.3	15 17.9	5 6.0	1 1.2
豊栄地区		43 100.0	24 55.8	4 9.3	11 25.6	2 4.7	8 18.6	8 18.6	4 9.3	3 7.0	7 16.3	0 0.0	
須賀地区		23 100.0	4 17.4	4 17.4	3 13.0	4 17.4	9 39.1	1 4.3	6 26.1	2 8.7	3 13.0	2 8.7	
匠瑳地区		23 100.0	7 30.4	1 4.3	6 26.1	1 4.3	4 17.4	3 13.0	3 13.0	3 13.0	3 13.0	3 13.0	
豊和地区		19 100.0	5 26.3	1 5.3	0 0.0	1 5.3	4 21.1	7 36.8	0 0.0	3 15.8	3 15.8	1 5.3	
吉田地区		10 100.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	
飯高地区		18 100.0	6 33.3	7 38.9	3 16.7	0 0.0	1 5.6	1 5.6	2 11.1	2 11.1	4 22.2	0 0.0	
共興地区		23 100.0	8 34.8	3 13.0	2 8.7	1 4.3	4 17.4	1 4.3	4 17.4	3 13.0	1 4.3	1 4.3	
平和地区		29 100.0	7 24.1	3 10.3	4 13.8	2 6.9	13 44.8	6 20.7	3 10.3	3 10.3	4 13.8	4 13.8	
樺海地区		37 100.0	6 16.2	2 5.4	17 45.9	3 8.1	8 21.6	5 13.5	5 13.5	4 10.8	5 13.5	2 5.4	
野田地区		40 100.0	10 25.0	3 7.5	7 17.5	1 2.5	10 25.0	12 30.0	4 10.0	7 17.5	4 10.0	3 7.5	
栄地区		29 100.0	9 31.0	1 3.4	13 44.8	2 6.9	8 27.6	6 20.7	3 10.3	3 10.3	3 10.3	2 6.9	
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市内に住んでいる	138 100.0	42 30.4	15 10.9	39 28.3	5 3.6	27 19.6	30 21.7	15 10.9	20 14.5	8 5.8	8 5.8
		匠瑳市の出身だが、市外での居住経験がある	100 100.0	36 36.0	7 7.0	21 21.0	5 5.0	25 25.0	17 17.0	12 12.0	21 21.0	18 18.0	3 3.0
	県内の他の市町村出身である	100 100.0	26 26.0	14 14.0	27 27.0	6 6.0	29 29.0	15 15.0	9 9.0	4 4.0	14 14.0	7 7.0	
	県外の出身である	44 100.0	24 54.5	4 9.1	13 29.5	3 6.8	12 27.3	7 15.9	7 15.9	3 6.8	5 11.4	2 4.5	

問 4-2 どのような活動ですか。（あてはまるものすべてに○）

○ 参加している（していた）団体等の活動は、「清掃活動・美化活動」54.7%が最も多く、次いで「スポーツ活動・大会」24.7%、「リサイクル活動」21.4%と続く。



○ 男性では女性に比べて「防災活動」や「スポーツ活動・大会」の割合が高く、女性では男性に比べて「清掃活動・美化活動」、「リサイクル活動」、「学校支援活動・地域学習活動」の割合が高い。

○ 10・20歳代では「スポーツ活動・大会」の割合が最も高い。

○ その他、職業別、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	活 動 清 掃 活 動 ・ 美 化	リ サ イ ク ル 活 動	地 域 学 校 支 援 活 動 ・ 学 習 活 動	大 ス ポ ー ツ 活 動 ・ 会 	承 地 域 の 文 化 継 護 活 動	ア 観 光 ボ ラ ン テ ィ	ア 福 祉 ボ ラ ン テ ィ	動 見 守 り ・ 防 犯 活 動	防 災 活 動	そ の 他	無 回 答
全体		397 100.0	217 54.7	85 21.4	84 21.2	98 24.7	61 15.4	7 1.8	32 8.1	46 11.6	52 13.1	24 6.0	16 4.0
問1-(1) 性別	男性	135 100.0	60 44.4	15 11.1	14 10.4	41 30.4	25 18.5	4 3.0	5 3.7	20 14.8	43 31.9	10 7.4	1 0.7
	女性	245 100.0	148 60.4	66 26.9	65 26.5	53 21.6	33 13.5	3 1.2	23 9.4	24 9.8	7 2.9	14 5.7	15 6.1
問1-(2) 年齢	10・20歳代	58 100.0	22 37.9	12 20.7	8 13.8	32 55.2	6 10.3	3 5.2	3 5.2	0 0.0	2 3.4	4 6.9	3 5.2
	30歳代	60 100.0	30 50.0	12 20.0	14 23.3	11 18.3	13 21.7	2 3.3	1 1.7	10 16.7	19 31.7	2 3.3	2 3.3
	40歳代	49 100.0	32 65.3	15 30.6	16 32.7	16 32.7	10 20.4	1 2.0	4 8.2	8 16.3	6 12.2	4 8.2	0 0.0
	50歳代	53 100.0	28 52.8	9 17.0	12 22.6	10 18.9	8 15.1	0 0.0	3 5.7	9 17.0	7 13.2	3 5.7	1 1.9
	60歳代	92 100.0	60 65.2	13 14.1	18 19.6	13 14.1	13 14.1	0 0.0	9 9.8	10 10.9	9 9.8	6 6.5	8 8.7
	70歳以上	70 100.0	38 54.3	20 28.6	12 17.1	12 17.1	9 12.9	1 1.4	8 11.4	7 10.0	7 10.0	5 7.1	2 2.9

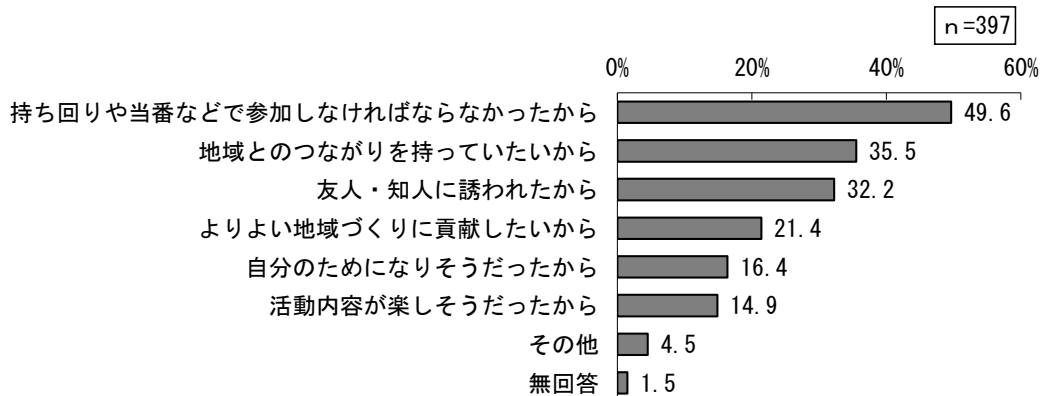
	合計	活動 清掃 活動・美 化	リ サイ クル 活動	地 域 学 校 支 援 活 動	大 会 ス ポ ー ツ 活 動	承 継 の 文 化 活 動	ア 観 光 ボ ラ ン テ イ	ア 福 祉 ボ ラ ン テ イ	動 見 守 り ・ 防 犯 活	防 災 活 動	そ の 他	無 回 答	
全体	397 100.0	217 54.7	85 21.4	84 21.2	98 24.7	61 15.4	7 1.8	32 8.1	46 11.6	52 13.1	24 6.0	16 4.0	
問1-(3) 職業	農林漁業	25 100.0	14 56.0	6 24.0	8 32.0	5 20.0	9 36.0	1 4.0	2 8.0	4 16.0	4 16.0	1 4.0	0 0.0
	商工・サービス・飲 食・自由業	37 100.0	18 48.6	6 16.2	8 21.6	12 32.4	9 24.3	1 2.7	2 5.4	5 13.5	7 18.9	2 5.4	0 0.0
	会社員・団体職員・公 務員	102 100.0	54 52.9	19 18.6	17 16.7	31 30.4	16 15.7	2 2.0	3 2.9	9 8.8	25 24.5	4 3.9	2 2.0
	学生	29 100.0	15 51.7	10 34.5	5 17.2	14 48.3	3 10.3	2 6.9	2 6.9	0 0.0	0 0.0	4 13.8	1 3.4
	家事（パートタイム含 む）	74 100.0	42 56.8	18 24.3	24 32.4	14 18.9	9 12.2	0 0.0	8 10.8	14 18.9	5 6.8	5 6.8	5 6.8
	無職	88 100.0	52 59.1	16 18.2	11 12.5	11 12.5	12 13.6	1 1.1	8 9.1	10 11.4	8 9.1	6 6.8	5 5.7
	その他	24 100.0	14 58.3	6 25.0	6 25.0	6 25.0	1 4.2	0 0.0	2 8.3	2 8.3	0 0.0	2 8.3	3 12.5
	問1-(4) 居住地区	中央地区	84 100.0	47 56.0	20 23.8	15 17.9	18 21.4	14 16.7	4 4.8	6 7.1	8 9.5	16 19.0	8 9.5
豊栄地区		43 100.0	28 65.1	6 14.0	10 23.3	10 23.3	6 14.0	0 0.0	3 7.0	4 9.3	3 7.0	2 4.7	0 0.0
須賀地区		23 100.0	13 56.5	4 17.4	7 30.4	6 26.1	3 13.0	0 0.0	2 8.7	2 8.7	3 13.0	0 0.0	1 4.3
匠瑳地区		23 100.0	13 56.5	7 30.4	2 8.7	3 13.0	4 17.4	0 0.0	1 4.3	2 8.7	3 13.0	1 4.3	3 13.0
豊和地区		19 100.0	8 42.1	1 5.3	1 5.3	6 31.6	3 15.8	1 5.3	0 0.0	3 15.8	3 15.8	0 0.0	1 5.3
吉田地区		10 100.0	4 40.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
飯高地区		18 100.0	13 72.2	1 5.6	1 5.6	2 11.1	2 11.1	1 5.6	0 0.0	2 11.1	1 5.6	3 16.7	1 5.6
共興地区		23 100.0	14 60.9	4 17.4	5 21.7	2 8.7	2 8.7	0 0.0	1 4.3	2 8.7	5 21.7	0 0.0	1 4.3
平和地区		29 100.0	18 62.1	7 24.1	6 20.7	9 31.0	4 13.8	0 0.0	2 6.9	4 13.8	3 10.3	1 3.4	1 3.4
椿海地区		37 100.0	19 51.4	11 29.7	10 27.0	10 27.0	5 13.5	0 0.0	6 16.2	3 8.1	4 10.8	5 13.5	2 5.4
野田地区		40 100.0	15 37.5	9 22.5	10 25.0	15 37.5	7 17.5	0 0.0	4 10.0	6 15.0	5 12.5	2 5.0	1 2.5
栄地区		29 100.0	16 55.2	8 27.6	9 31.0	9 31.0	7 24.1	1 3.4	2 6.9	4 13.8	3 10.3	1 3.4	1 3.4
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市 内に住んでいる	138 100.0	69 50.0	32 23.2	26 18.8	38 27.5	24 17.4	3 2.2	8 5.8	14 10.1	24 17.4	6 4.3
	匠瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	100 100.0	50 50.0	16 16.0	22 22.0	24 24.0	15 15.0	3 3.0	6 6.0	14 14.0	18 18.0	4 4.0	6 6.0
	県内の他の市町村出身 である	100 100.0	57 57.0	19 19.0	21 21.0	23 23.0	14 14.0	1 1.0	6 6.0	10 10.0	4 4.0	12 12.0	6 6.0
	県外の出身である	44 100.0	34 77.3	14 31.8	11 25.0	9 20.5	6 13.6	0 0.0	8 18.2	6 13.6	4 9.1	2 4.5	1 2.3

○ 活動団体別の活動内容は以下のとおり。

	合計	活動清掃活動・美化	リサイクル活動	地域学校学習活動・支援活動	大会スポーツ活動	地域の文化継承・保護活動	ア観光ボランティア	ア福祉ボランティア	動見守り・防犯活動	防災活動	その他	無回答
全体	397 100.0	217 54.7	85 21.4	84 21.2	98 24.7	61 15.4	7 1.8	32 8.1	46 11.6	52 13.1	24 6.0	16 4.0
自治会	133 100.0	109 82.0	26 19.5	23 17.3	24 18.0	32 24.1	3 2.3	8 6.0	14 10.5	13 9.8	9 6.8	2 1.5
シニアクラブ	41 100.0	30 73.2	11 26.8	5 12.2	8 19.5	8 19.5	0 0.0	5 12.2	4 9.8	3 7.3	5 12.2	1 2.4
子ども会	104 100.0	62 59.6	41 39.4	43 41.3	38 36.5	11 10.6	2 1.9	2 1.9	16 15.4	7 6.7	3 2.9	5 4.8
社会福祉協議会	21 100.0	9 42.9	5 23.8	7 33.3	2 9.5	7 33.3	0 0.0	11 52.4	5 23.8	1 4.8	2 9.5	0 0.0
PTA	99 100.0	55 55.6	39 39.4	49 49.5	30 30.3	11 11.1	0 0.0	5 5.1	21 21.2	12 12.1	2 2.0	3 3.0
地域のスポーツクラブ	71 100.0	25 35.2	16 22.5	13 18.3	62 87.3	5 7.0	2 2.8	4 5.6	9 12.7	5 7.0	3 4.2	1 1.4
ボランティア団体・NPO	44 100.0	24 54.5	8 18.2	12 27.3	8 18.2	11 25.0	2 4.5	19 43.2	10 22.7	6 13.6	4 9.1	1 2.3
消防団・自主防災組織	49 100.0	12 24.5	5 10.2	6 12.2	9 18.4	7 14.3	1 2.0	1 2.0	13 26.5	42 85.7	0 0.0	0 0.0
その他	45 100.0	17 37.8	6 13.3	12 26.7	8 17.8	7 15.6	1 2.2	6 13.3	6 13.3	2 4.4	12 26.7	3 6.7

問 4-3 参加したきっかけは何ですか。（主なもの3つまでに○）

○ 参加したきっかけは、「持ち回りや当番などで参加しなければならなかったから」49.6%が最も多く、次いで「地域とのつながりを持っていたいから」35.5%、「友人・知人に誘われたから」32.2%と続く。



○ 特に40歳代、50歳代で「持ち回りや当番などで参加しなければならなかったから」の割合が高くなっている。また、10・20歳代では「友人・知人に誘われたから」、70歳代では「地域とのつながりを持っていたいから」の割合が最も高くなっている。

○ その他、性別、職業別、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	友人・知人に誘われたから	活動内容が楽しそうだったから	自分のためになりそうだったから	よりよい地域づくりに貢献したいから	地域とのつながりを持っていたいから	持ち回りや当番などで参加しなければならなかったから	その他	無回答
全体		397	128	59	65	85	141	197	18	6
		100.0	32.2	14.9	16.4	21.4	35.5	49.6	4.5	1.5
問1-(1) 性別	男性	135	44	18	20	28	55	71	4	0
	女性	245	78	39	42	53	82	117	12	6
		100.0	31.8	15.9	17.1	21.6	33.5	47.8	4.9	2.4
問1-(2) 年齢	10・20歳代	58	26	19	12	10	11	10	5	0
		100.0	44.8	32.8	20.7	17.2	19.0	17.2	8.6	0.0
	30歳代	60	22	5	5	9	21	35	4	0
		100.0	36.7	8.3	8.3	15.0	35.0	58.3	6.7	0.0
	40歳代	49	9	11	6	12	15	34	3	0
		100.0	18.4	22.4	12.2	24.5	30.6	69.4	6.1	0.0
	50歳代	53	15	5	5	8	22	37	1	0
	100.0	28.3	9.4	9.4	15.1	41.5	69.8	1.9	0.0	
60歳代	92	24	4	16	24	38	51	2	3	
	100.0	26.1	4.3	17.4	26.1	41.3	55.4	2.2	3.3	
70歳以上	70	27	14	18	19	30	22	1	3	
	100.0	38.6	20.0	25.7	27.1	42.9	31.4	1.4	4.3	

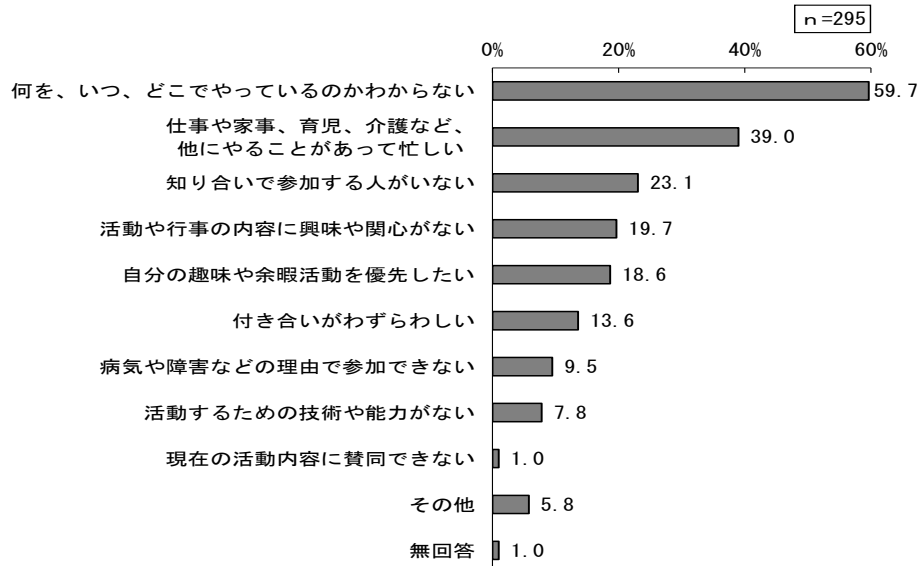
	合計	友人・知人に誘われたから	活動内容が楽しそうだったから	自分のためになりそうだったから	よりよい地域づくりに貢献したいから	地域とのつながりを持っていたいから	持ち回りや当番などで参加しなければならなかったから	その他	無回答	
全体	397 100.0	128 32.2	59 14.9	65 16.4	85 21.4	141 35.5	197 49.6	18 4.5	6 1.5	
問1-(3) 職業	農林漁業	25 100.0	10 40.0	2 8.0	5 20.0	10 40.0	11 44.0	10 40.0	2 8.0	0 0.0
	商工・サービス・飲食・自由業	37 100.0	11 29.7	6 16.2	6 16.2	6 16.2	15 40.5	16 43.2	2 5.4	0 0.0
	会社員・団体職員・公務員	102 100.0	36 35.3	12 11.8	11 10.8	16 15.7	30 29.4	58 56.9	3 2.9	0 0.0
	学生	29 100.0	12 41.4	9 31.0	5 17.2	6 20.7	5 17.2	4 13.8	5 17.2	0 0.0
	家事（パートタイム含む）	74 100.0	21 28.4	13 17.6	11 14.9	16 21.6	27 36.5	39 52.7	4 5.4	2 2.7
	無職	88 100.0	25 28.4	10 11.4	17 19.3	20 22.7	39 44.3	46 52.3	0 0.0	3 3.4
	その他	24 100.0	6 25.0	4 16.7	5 20.8	7 29.2	10 41.7	15 62.5	0 0.0	1 4.2
問1-(4) 居住地区	中央地区	84 100.0	33 39.3	15 17.9	17 20.2	16 19.0	32 38.1	41 48.8	0 0.0	1 1.2
	豊栄地区	43 100.0	10 23.3	7 16.3	9 20.9	13 30.2	16 37.2	27 62.8	2 4.7	0 0.0
	須賀地区	23 100.0	3 13.0	5 21.7	3 13.0	7 30.4	8 34.8	7 30.4	1 4.3	2 8.7
	匠瑳地区	23 100.0	4 17.4	3 13.0	2 8.7	4 17.4	9 39.1	10 43.5	2 8.7	1 4.3
	豊和地区	19 100.0	6 31.6	0 0.0	2 10.5	4 21.1	4 21.1	10 52.6	2 10.5	1 5.3
	吉田地区	10 100.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0
	飯高地区	18 100.0	4 22.2	0 0.0	2 11.1	5 27.8	10 55.6	11 61.1	1 5.6	0 0.0
	共興地区	23 100.0	7 30.4	2 8.7	3 13.0	6 26.1	9 39.1	13 56.5	0 0.0	0 0.0
	平和地区	29 100.0	10 34.5	2 6.9	5 17.2	7 24.1	7 24.1	16 55.2	2 6.9	0 0.0
	椿海地区	37 100.0	13 35.1	7 18.9	6 16.2	8 21.6	14 37.8	18 48.6	2 5.4	1 2.7
	野田地区	40 100.0	18 45.0	8 20.0	8 20.0	6 15.0	11 27.5	13 32.5	2 5.0	0 0.0
	栄地区	29 100.0	10 34.5	5 17.2	4 13.8	4 13.8	11 37.9	19 65.5	1 3.4	0 0.0
	問1-(5) 居住状況	生まれてからずっと市内に住んでいる	138 100.0	49 35.5	26 18.8	21 15.2	28 20.3	44 31.9	55 39.9	11 8.0
匠瑳市の出身だが、市外での居住経験がある		100 100.0	34 34.0	12 12.0	17 17.0	24 24.0	43 43.0	54 54.0	1 1.0	1 1.0
県内の他の市町村出身である		100 100.0	28 28.0	11 11.0	16 16.0	17 17.0	31 31.0	53 53.0	3 3.0	5 5.0
県外の出身である		44 100.0	12 27.3	9 20.5	8 18.2	13 29.5	19 43.2	27 61.4	1 2.3	0 0.0

	合計	友人・知人に誘われたから	活動内容が楽しそうだったから	自分のためになりそうだったから	よりよい地域づくりに貢献したいから	地域とのつながりを持っていたいから	持ち回りや当番などで参加しなければならなかったから	その他	無回答
全体	397 100.0	128 32.2	59 14.9	65 16.4	85 21.4	141 35.5	197 49.6	18 4.5	6 1.5
自治会	133 100.0	27 20.3	16 12.0	14 10.5	39 29.3	58 43.6	92 69.2	5 3.8	0 0.0
シニアクラブ	41 100.0	22 53.7	6 14.6	17 41.5	14 34.1	17 41.5	9 22.0	1 2.4	1 2.4
子ども会	104 100.0	38 36.5	19 18.3	9 8.7	18 17.3	33 31.7	61 58.7	7 6.7	0 0.0
社会福祉協議会	21 100.0	9 42.9	3 14.3	5 23.8	11 52.4	8 38.1	6 28.6	2 9.5	0 0.0
PTA	99 100.0	35 35.4	15 15.2	13 13.1	18 18.2	35 35.4	67 67.7	6 6.1	0 0.0
地域のスポーツクラブ	71 100.0	38 53.5	26 36.6	19 26.8	11 15.5	14 19.7	28 39.4	3 4.2	1 1.4
ボランティア団体・NPO	44 100.0	21 47.7	13 29.5	14 31.8	18 40.9	17 38.6	11 25.0	1 2.3	0 0.0
消防団・自主防災組織	49 100.0	24 49.0	2 4.1	10 20.4	11 22.4	25 51.0	23 46.9	1 2.0	0 0.0
その他	45 100.0	17 37.8	7 15.6	10 22.2	8 17.8	17 37.8	22 48.9	4 8.9	0 0.0

問 4-4 は、問 4 で「4 参加したことがない」と回答した方におうかがいします。

問 4-4 参加していない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

○ 参加していない理由は、「何を、いつ、どこでやっているのかわからない」59.7%が最も多く、次いで「仕事や家事、育児、介護など、他にやることがあって忙しい」39.0%、「知り合いで参加する人がいない」23.1%と続く。



○ 特に 30 歳代以下で「何を、いつ、どこでやっているのかわからない」の割合が高くなっている。40 歳代では、「仕事や家事、育児、介護など、他にやることがあって忙しい」の割合が高い。

○ その他、性別、職業別、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

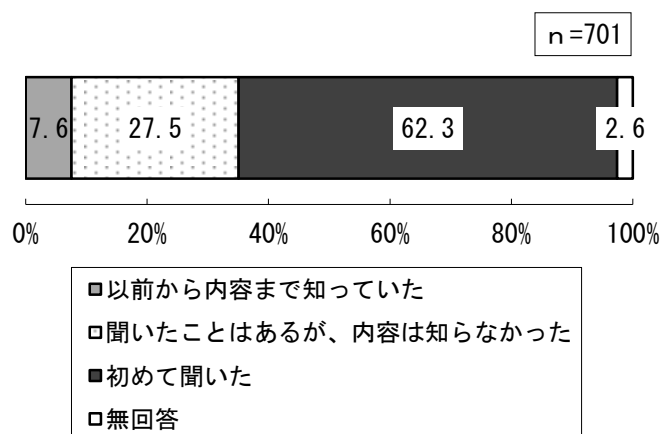
	合計	興味や関心がない	活動や行事の内容に	知らない	何を、いつ、どこで	由	病	人	知	こ	介	事	動	自	や	活	し	同	現	そ	無	
		や	な	い	を、	病	気	が	り	と	護	業	を	分	能	動	い	で	在	の	回	
		関	い	な	いつ、どこで	気	や	い	合	が	な	や	優	の	力	する	け	き	の	他	答	
		心	な	い	か	や	障	合	い	あ	ど	家	先	趣	が	た	い	な	活			
		が	い	な	わ	害	な	い	で	っ	事	し	余	味	わ	ず	ら	可	動			
		ない	か	い	か	の	ど	の	参	て	忙	事	暇	や	ら	わ	同	な	活			
		内容	わ	い	か	こ	こ	理	加	し	し	育	活	余	わ	同	な	活				
		に	か	い	か	こ	こ	理	加	し	し	育	活	余	わ	同	な	活				
全体	295 100.0	58 19.7	176 59.7	28 9.5	68 23.1	115 39.0	55 18.6	23 7.8	40 13.6	3 1.0	17 5.8	3 1.0										
問1-(1)性別																						
男性	109 100.0	31 28.4	58 53.2	11 10.1	27 24.8	40 36.7	27 24.8	7 6.4	19 17.4	1 0.9	4 3.7	0 0.0										
女性	174 100.0	25 14.4	111 63.8	15 8.6	37 21.3	71 40.8	26 14.9	14 8.0	20 11.5	1 0.6	13 7.5	3 1.7										
問1-(2)年齢																						
10・20歳代	71 100.0	17 23.9	54 76.1	3 4.2	20 28.2	21 29.6	16 22.5	1 1.4	7 9.9	0 0.0	2 2.8	0 0.0										
30歳代	61 100.0	13 21.3	42 68.9	3 4.9	20 32.8	28 45.9	15 24.6	4 6.6	10 16.4	0 0.0	4 6.6	0 0.0										
40歳代	41 100.0	11 26.8	23 56.1	1 2.4	6 14.6	23 56.1	6 14.6	2 4.9	8 19.5	0 0.0	4 9.8	0 0.0										
50歳代	24 100.0	5 20.8	12 50.0	1 4.2	5 20.8	11 45.8	4 16.7	2 8.3	3 12.5	1 4.2	3 12.5	1 4.2										
60歳代	45 100.0	6 13.3	20 44.4	8 17.8	8 17.8	17 37.8	5 11.1	4 8.9	5 11.1	1 2.2	2 4.4	0 0.0										
70歳以上	43 100.0	4 9.3	20 46.5	10 23.3	6 14.0	11 25.6	7 16.3	8 18.6	6 14.0	0 0.0	2 4.7	2 4.7										

	合計	興味や 活動や 関心事 の内容に ない	何を いつ、 どこで している のかわか らない	病 気や障 害など の理由 で参加 できない	人 知りが ないで 参加す る	介 護など 、他に やる ことが あつて 忙しい	事 務や家 事、育 児、	自 分の趣 味や余 暇活 動を優 先した い	活 動する ための 技術 や能力 がない	付 き合 いがわ ずら わ	現 在の活 動内容 に賛 同でき ない	そ の他	無 回 答
	全体	295 100.0	58 19.7	176 59.7	28 9.5	68 23.1	115 39.0	55 18.6	23 7.8	40 13.6	3 1.0	17 5.8	3 1.0
問1-(3) 職業	農林漁業	7 100.0	1 14.3	4 57.1	1 14.3	0 0.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	商工・サービス・飲 食・自由業	33 100.0	7 21.2	19 57.6	1 3.0	5 15.2	20 60.6	7 21.2	4 12.1	8 24.2	1 3.0	2 6.1	0 0.0
	会社員・団体職員・公 務員	90 100.0	22 24.4	55 61.1	1 1.1	27 30.0	44 48.9	25 27.8	2 2.2	9 10.0	1 1.1	4 4.4	0 0.0
	学生	26 100.0	5 19.2	22 84.6	0 0.0	8 30.8	3 11.5	2 7.7	1 3.8	2 7.7	0 0.0	1 3.8	0 0.0
	家事（パートタイム含 む）	50 100.0	6 12.0	33 66.0	1 2.0	8 16.0	26 52.0	3 6.0	4 8.0	4 8.0	0 0.0	6 12.0	1 2.0
	無職	63 100.0	11 17.5	30 47.6	19 30.2	11 17.5	12 19.0	10 15.9	10 15.9	12 19.0	0 0.0	3 4.8	2 3.2
	その他	16 100.0	4 25.0	9 56.3	2 12.5	6 37.5	3 18.8	5 31.3	0 0.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0
問1-(4) 居住地区	中央地区	39 100.0	6 15.4	19 48.7	3 7.7	10 25.6	17 43.6	9 23.1	2 5.1	7 17.9	1 2.6	2 5.1	0 0.0
	豊栄地区	30 100.0	4 13.3	19 63.3	3 10.0	12 40.0	11 36.7	3 10.0	4 13.3	5 16.7	0 0.0	1 3.3	0 0.0
	須賀地区	26 100.0	8 30.8	13 50.0	5 19.2	4 15.4	10 38.5	4 15.4	2 7.7	3 11.5	0 0.0	2 7.7	0 0.0
	匠瑳地区	34 100.0	10 29.4	17 50.0	3 8.8	6 17.6	11 32.4	6 17.6	2 5.9	3 8.8	0 0.0	1 2.9	1 2.9
	豊和地区	17 100.0	3 17.6	13 76.5	2 11.8	5 29.4	4 23.5	3 17.6	2 11.8	3 17.6	0 0.0	1 5.9	0 0.0
	吉田地区	11 100.0	1 9.1	3 27.3	0 0.0	2 18.2	6 54.5	2 18.2	0 0.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	飯高地区	5 100.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	2 40.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	共興地区	16 100.0	4 25.0	11 68.8	0 0.0	4 25.0	8 50.0	5 31.3	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	平和地区	21 100.0	6 28.6	14 66.7	2 9.5	4 19.0	7 33.3	4 19.0	1 4.8	3 14.3	1 4.8	2 9.5	0 0.0
	樺海地区	41 100.0	4 9.8	30 73.2	3 7.3	6 14.6	15 36.6	8 19.5	3 7.3	3 7.3	0 0.0	5 12.2	2 4.9
	野田地区	27 100.0	8 29.6	17 63.0	2 7.4	6 22.2	12 44.4	4 14.8	3 11.1	6 22.2	0 0.0	1 3.7	0 0.0
	栄地区	15 100.0	2 13.3	9 60.0	1 6.7	4 26.7	5 33.3	4 26.7	1 6.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	問1-(5) 居住状況	生まれてからずっと市 内に住んでいる	98 100.0	25 25.5	62 63.3	6 6.1	28 28.6	31 31.6	20 20.4	6 6.1	14 14.3	1 1.0	5 5.1
匠瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある		83 100.0	17 20.5	51 61.4	6 7.2	16 19.3	38 45.8	15 18.1	4 4.8	14 16.9	0 0.0	4 4.8	2 2.4
県内の他の市町村出身 である		71 100.0	9 12.7	42 59.2	11 15.5	13 18.3	25 35.2	9 12.7	8 11.3	8 11.3	1 1.4	5 7.0	0 0.0
県外の出身である		34 100.0	5 14.7	17 50.0	3 8.8	8 23.5	17 50.0	9 26.5	3 8.8	3 8.8	0 0.0	3 8.8	0 0.0

II-3. 協働に対する考え方について

問5 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。(1つに○)

○「協働」という言葉について、「初めて聞いた」62.3%「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」27.5%、「以前から内容まで知っていた」7.6%。



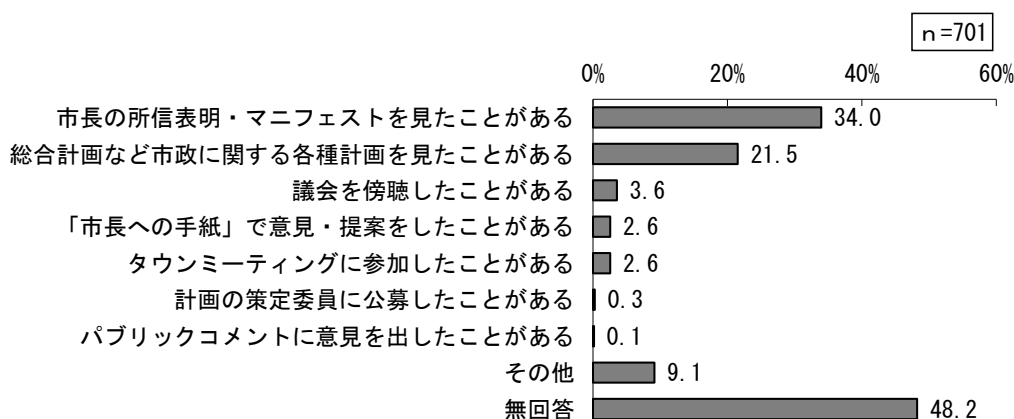
○ 属性による大きな差は見られません。

		合計	以前から内容 まで知ってい た	聞いたことは あるが、内容 は知らなかつ た	初めて聞いた	無回答
	全体	701 100.0	53 7.6	193 27.5	437 62.3	18 2.6
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	19 7.7	64 26.0	157 63.8	6 2.4
	女性	426 100.0	30 7.0	119 27.9	269 63.1	8 1.9
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129 100.0	9 7.0	38 29.5	81 62.8	1 0.8
	30歳代	122 100.0	6 4.9	33 27.0	82 67.2	1 0.8
	40歳代	91 100.0	9 9.9	13 14.3	68 74.7	1 1.1
	50歳代	78 100.0	5 6.4	21 26.9	52 66.7	0 0.0
	60歳代	139 100.0	9 6.5	42 30.2	85 61.2	3 2.2
	70歳以上	117 100.0	12 10.3	37 31.6	60 51.3	8 6.8

		合計	以前から内容 まで知ってい た	聞いたことは あるが、内容 は知らなかつ た	初めて聞いた	無回答	
	全体	701 100.0	53 7.6	193 27.5	437 62.3	18 2.6	
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	3 9.1	10 30.3	20 60.6	0 0.0	
	商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	5 7.1	25 35.7	38 54.3	2 2.9	
	会社員・団体職員・公 務員	196 100.0	19 9.7	48 24.5	127 64.8	2 1.0	
	学生	55 100.0	6 10.9	14 25.5	34 61.8	1 1.8	
	家事（パートタイム含 む）	124 100.0	3 2.4	33 26.6	86 69.4	2 1.6	
	無職	155 100.0	10 6.5	41 26.5	97 62.6	7 4.5	
	その他	40 100.0	3 7.5	12 30.0	25 62.5	0 0.0	
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	9 7.2	36 28.8	76 60.8	4 3.2
豊栄地区		74 100.0	8 10.8	15 20.3	50 67.6	1 1.4	
須賀地区		50 100.0	5 10.0	13 26.0	31 62.0	1 2.0	
匠瑳地区		58 100.0	4 6.9	14 24.1	36 62.1	4 6.9	
豊和地区		37 100.0	2 5.4	6 16.2	26 70.3	3 8.1	
吉田地区		21 100.0	1 4.8	7 33.3	13 61.9	0 0.0	
飯高地区		23 100.0	0 0.0	11 47.8	12 52.2	0 0.0	
共興地区		39 100.0	3 7.7	14 35.9	22 56.4	0 0.0	
平和地区		51 100.0	1 2.0	11 21.6	39 76.5	0 0.0	
椿海地区		79 100.0	7 8.9	22 27.8	49 62.0	1 1.3	
野田地区		67 100.0	5 7.5	19 28.4	43 64.2	0 0.0	
栄地区		45 100.0	5 11.1	13 28.9	27 60.0	0 0.0	
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市 内に住んでいる	238 100.0	16 6.7	69 29.0	149 62.6	4 1.7
		匠瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	185 100.0	19 10.3	50 27.0	111 60.0	5 2.7
	県内の他の市町村出身 である	174 100.0	7 4.0	48 27.6	114 65.5	5 2.9	
	県外の出身である	80 100.0	8 10.0	18 22.5	54 67.5	0 0.0	

問6 あなたは、まちづくりに関して、以下のことをしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

○まちづくりに関してやったことがあるのは、「市長の所信表明・マニフェストを見たことがある」34.0%が最も多く、次いで「総合計画など市政に関する各種計画を見たことがある」21.5%、「その他」9.1%と続く。



○年代が上がるにつれ、「市長の所信表明・マニフェストを見たことがある」、「総合計画など市政に関する各種計画を見たことがある」の割合が高くなっている。

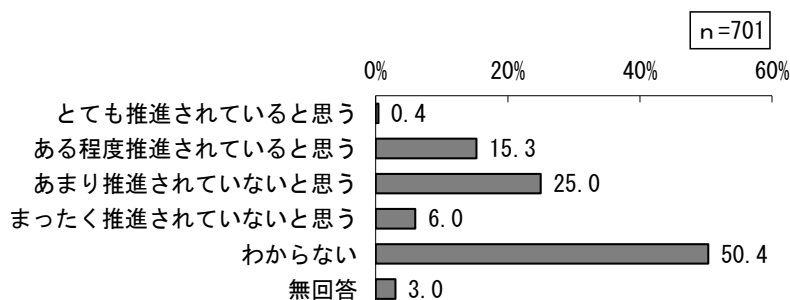
○その他、性別、職業別、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	市長の所信表明を見たことがある	総合計画など市政に関する各種計画を見たことがある	議会を傍聴したことがある	「市長への手紙」で意見・提案をしたことがある	タウンミーティングに参加したことがある	計画の策定委員に公募したことがある	その他	無回答	
	全体	701	238	151	1	18	18	25	2	64	338
		100.0	34.0	21.5	0.1	2.6	2.6	3.6	0.3	9.1	48.2
問1-(1) 性別	男性	246	86	59	0	4	9	9	0	23	105
		100.0	35.0	24.0	0.0	1.6	3.7	3.7	0.0	9.3	42.7
	女性	426	147	88	1	13	7	16	2	40	214
		100.0	34.5	20.7	0.2	3.1	1.6	3.8	0.5	9.4	50.2
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129	27	10	0	2	3	5	0	16	74
		100.0	20.9	7.8	0.0	1.6	2.3	3.9	0.0	12.4	57.4
	30歳代	122	38	26	0	1	3	1	0	17	61
		100.0	31.1	21.3	0.0	0.8	2.5	0.8	0.0	13.9	50.0
	40歳代	91	34	17	0	1	3	1	0	7	44
		100.0	37.4	18.7	0.0	1.1	3.3	1.1	0.0	7.7	48.4
	50歳代	78	27	17	0	2	2	2	0	5	35
	100.0	34.6	21.8	0.0	2.6	2.6	2.6	0.0	6.4	44.9	
60歳代	139	57	40	1	4	2	5	1	12	59	
	100.0	41.0	28.8	0.7	2.9	1.4	3.6	0.7	8.6	42.4	
70歳以上	117	50	38	0	7	4	11	1	6	49	
	100.0	42.7	32.5	0.0	6.0	3.4	9.4	0.9	5.1	41.9	

		合計	市長の所信表明・マニフェストを見たことがある	市長の所信表明・マニフェストを見たことがある	総計画など市政に関する各種計画を見たことがある	パブリックコメントに意見を出したことがある	「市長への手紙」で意見・提案をしたことがある	「市長への手紙」で意見・提案をしたことがある	タウンミーティングに参加したこと	議会を傍聴したことがある	公募したことがある	計画の策定委員に	その他	無回答	
	全体	701 100.0	238 34.0	151 21.5	1 0.1	18 2.6	18 2.6	25 3.6	2 0.3	64 9.1	338 48.2				
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	15 45.5	9 27.3	0 0.0	1 3.0	1 3.0	3 9.1	0 0.0	0 0.0	14 42.4				
	商工・サービス・飲食・自由業	70 100.0	26 37.1	20 28.6	1 1.4	3 4.3	5 7.1	4 5.7	1 1.4	4 5.7	34 48.6				
	会社員・団体職員・公務員	196 100.0	65 33.2	40 20.4	0 0.0	2 1.0	3 1.5	4 2.0	0 0.0	21 10.7	96 49.0				
	学生	55 100.0	10 18.2	4 7.3	0 0.0	1 1.8	1 1.8	3 5.5	0 0.0	5 9.1	33 60.0				
	家事（パートタイム含む）	124 100.0	47 37.9	25 20.2	0 0.0	2 1.6	2 1.6	1 0.8	1 0.8	15 12.1	59 47.6				
	無職	155 100.0	54 34.8	39 25.2	0 0.0	6 3.9	1 0.6	9 5.8	0 0.0	10 6.5	73 47.1				
	その他	40 100.0	17 42.5	11 27.5	0 0.0	1 2.5	4 10.0	1 2.5	0 0.0	5 12.5	13 32.5				
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	49 39.2	40 32.0	0 0.0	3 2.4	5 4.0	10 8.0	1 0.8	6 4.8	51 40.8			
豊栄地区		74 100.0	27 36.5	11 14.9	0 0.0	2 2.7	2 2.7	2 2.7	0 0.0	12 16.2	33 44.6				
須賀地区		50 100.0	21 42.0	15 30.0	0 0.0	2 4.0	1 2.0	2 4.0	0 0.0	2 4.0	21 42.0				
匠瑤地区		58 100.0	13 22.4	5 8.6	0 0.0	1 1.7	2 3.4	2 3.4	0 0.0	12 20.7	28 48.3				
豊和地区		37 100.0	9 24.3	5 13.5	0 0.0	0 0.0	2 5.4	1 2.7	0 0.0	2 5.4	22 59.5				
吉田地区		21 100.0	8 38.1	6 28.6	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	9 42.9				
飯高地区		23 100.0	9 39.1	3 13.0	0 0.0	2 8.7	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	12 52.2				
共興地区		39 100.0	8 20.5	6 15.4	0 0.0	1 2.6	0 0.0	1 2.6	0 0.0	4 10.3	24 61.5				
平和地区		51 100.0	16 31.4	12 23.5	1 2.0	2 3.9	1 2.0	1 2.0	1 2.0	7 13.7	28 54.9				
椿海地区		79 100.0	32 40.5	13 16.5	0 0.0	3 3.8	0 0.0	3 3.8	0 0.0	8 10.1	34 43.0				
野田地区		67 100.0	20 29.9	17 25.4	0 0.0	1 1.5	0 0.0	2 3.0	0 0.0	5 7.5	34 50.7				
栄地区		45 100.0	17 37.8	11 24.4	0 0.0	0 0.0	3 6.7	0 0.0	0 0.0	3 6.7	24 53.3				
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市内に住んでいる	238 100.0	73 30.7	49 20.6	0 0.0	5 2.1	5 2.1	8 3.4	0 0.0	18 7.6	122 51.3			
		匠瑤市の出身だが、市外での居住経験がある	185 100.0	72 38.9	48 25.9	0 0.0	5 2.7	4 2.2	6 3.2	1 0.5	17 9.2	80 43.2			
	県内の他の市町村出身である	174 100.0	61 35.1	34 19.5	1 0.6	4 2.3	5 2.9	11 6.3	1 0.6	22 12.6	79 45.4				
	県外の出身である	80 100.0	28 35.0	17 21.3	0 0.0	3 3.8	3 3.8	0 0.0	0 0.0	6 7.5	41 51.3				

問7 あなたは、匝瑳市では、現在、協働によるまちづくりが推進されていると思いますか。(1つに○)

○ 匝瑳市で、協働によるまちづくりが推進されていると思うかは、「わからない」50.4%が最も多く、次いで「あまり推進されていないと思う」25.0%、「ある程度推進されていると思う」15.3%と続く。



○ 70歳以上では「ある程度推進されていると思う」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

○ 農林漁業者では、「あまり推進されていないと思う」の割合が最も高い。

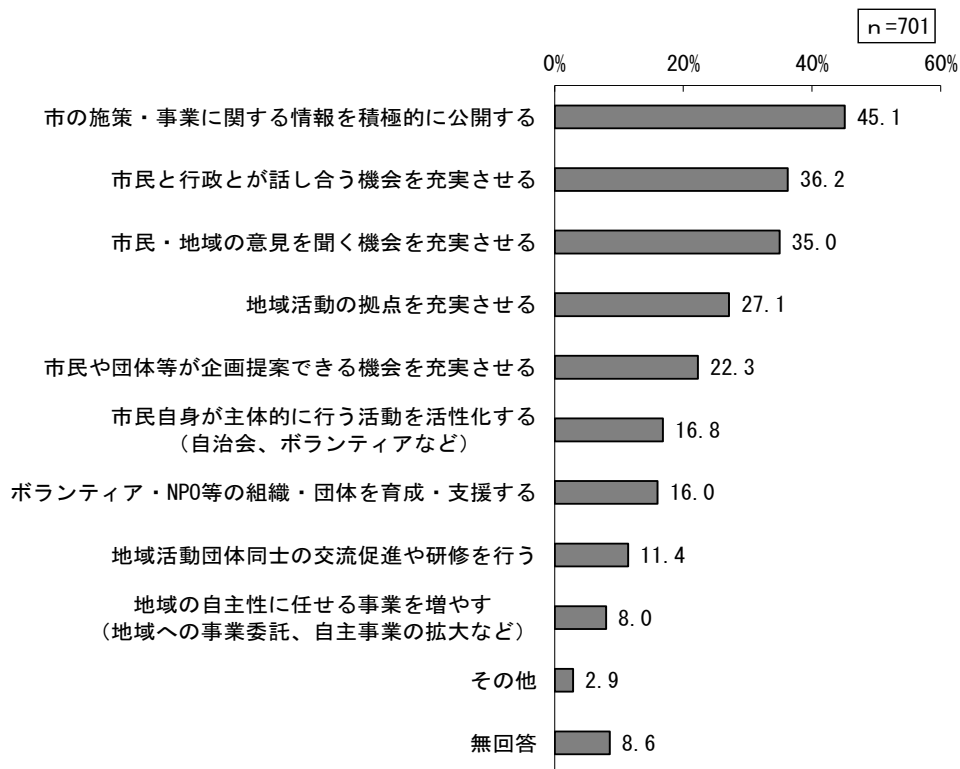
○ 豊和地区では、「わからない」の割合が約7割と高い。

		合計	ととても推進されていると思う	ある程度推進されていると思う	あまり推進されていないと思う	まったく推進されていないと思う	わからない	無回答
	全体	701 100.0	3 0.4	107 15.3	175 25.0	42 6.0	353 50.4	21 3.0
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	3 1.2	35 14.2	65 26.4	20 8.1	120 48.8	3 1.2
	女性	426 100.0	0 0.0	64 15.0	104 24.4	19 4.5	225 52.8	14 3.3
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129 100.0	0 0.0	19 14.7	36 27.9	3 2.3	71 55.0	0 0.0
	30歳代	122 100.0	2 1.6	12 9.8	35 28.7	16 13.1	57 46.7	0 0.0
	40歳代	91 100.0	0 0.0	13 14.3	22 24.2	8 8.8	48 52.7	0 0.0
	50歳代	78 100.0	0 0.0	8 10.3	20 25.6	1 1.3	46 59.0	3 3.8
	60歳代	139 100.0	0 0.0	21 15.1	33 23.7	7 5.0	74 53.2	4 2.9
	70歳以上	117 100.0	1 0.9	28 23.9	24 20.5	5 4.3	49 41.9	10 8.5

		合計	とても推 進されて いると思 う	ある程度 推進され ていると 思う	あまり推 進されて いないと 思う	まったく 推進され ていない と思う	わからな い	無回答	
	全体	701 100.0	3 0.4	107 15.3	175 25.0	42 6.0	353 50.4	21 3.0	
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	1 3.0	5 15.2	12 36.4	1 3.0	11 33.3	3 9.1	
	商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	1 1.4	13 18.6	15 21.4	8 11.4	31 44.3	2 2.9	
	会社員・団体職員・公 務員	196 100.0	1 0.5	29 14.8	49 25.0	15 7.7	100 51.0	2 1.0	
	学生	55 100.0	0 0.0	11 20.0	12 21.8	1 1.8	31 56.4	0 0.0	
	家事（パートタイム含 む）	124 100.0	0 0.0	16 12.9	30 24.2	5 4.0	71 57.3	2 1.6	
	無職	155 100.0	0 0.0	23 14.8	36 23.2	8 5.2	81 52.3	7 4.5	
	その他	40 100.0	0 0.0	3 7.5	14 35.0	2 5.0	20 50.0	1 2.5	
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	1 0.8	18 14.4	34 27.2	9 7.2	59 47.2	4 3.2
豊栄地区		74 100.0	1 1.4	10 13.5	20 27.0	7 9.5	35 47.3	1 1.4	
須賀地区		50 100.0	0 0.0	6 12.0	15 30.0	4 8.0	23 46.0	2 4.0	
匠瑳地区		58 100.0	0 0.0	14 24.1	11 19.0	4 6.9	27 46.6	2 3.4	
豊和地区		37 100.0	0 0.0	3 8.1	6 16.2	0 0.0	25 67.6	3 8.1	
吉田地区		21 100.0	1 4.8	2 9.5	6 28.6	2 9.5	10 47.6	0 0.0	
飯高地区		23 100.0	0 0.0	5 21.7	6 26.1	0 0.0	12 52.2	0 0.0	
共興地区		39 100.0	0 0.0	7 17.9	9 23.1	2 5.1	20 51.3	1 2.6	
平和地区		51 100.0	0 0.0	6 11.8	13 25.5	5 9.8	27 52.9	0 0.0	
椿海地区		79 100.0	0 0.0	11 13.9	22 27.8	1 1.3	44 55.7	1 1.3	
野田地区		67 100.0	0 0.0	11 16.4	13 19.4	4 6.0	38 56.7	1 1.5	
栄地区		45 100.0	0 0.0	7 15.6	10 22.2	2 4.4	24 53.3	2 4.4	
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市 内に住んでいる	238 100.0	2 0.8	38 16.0	66 27.7	14 5.9	113 47.5	5 2.1
		匠瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	185 100.0	0 0.0	26 14.1	49 26.5	10 5.4	94 50.8	6 3.2
	県内の他の市町村出身 である	174 100.0	1 0.6	28 16.1	34 19.5	8 4.6	98 56.3	5 2.9	
	県外の出身である	80 100.0	0 0.0	9 11.3	21 26.3	8 10.0	41 51.3	1 1.3	

問8 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

○ 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、重要だと考えることは、「市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」45.1%が最も多く、次いで「市民と行政とが話し合う機会を充実させる」36.2%、「市民・地域の意見を聞く機会を充実させる」35.0%と続く。

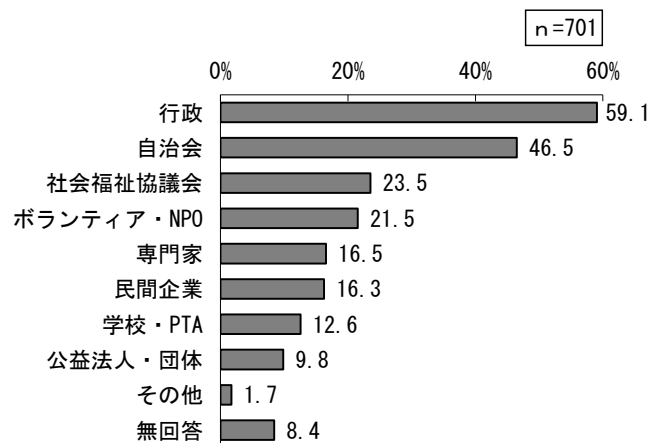


○ 属性によるクロス集計結果は以下のとおり。

		合計	実地 させ る	地域 活動 の 拠 点 を 充 つ	交 流 促 進 や 研 修 を 行 う	地 域 活 動 団 体 同 士 の	公 開 す る 情 報 を 積 極 的 に 関 与 す る	市 の 施 策 ・ 事 業 に 関 する	市 民 の 機 会 を 充 実 さ せ る	市 民 ・ 地 域 の 意 見 を 充 実 さ せ る	市 民 と 行 政 と が 話 し 合 う 機 会 を 充 実 さ せ る	市 民 や 団 体 等 が 企 画 提 案 で き る 機 会 を 充 実 さ せ る	地 域 の 自 主 性 に 任 せ る 事 業 を 増 や す	市 民 自 身 が 主 体 的 に 行 う 活 動 を 活 性 化 す	市 民 自 身 が 主 体 的 に 行 う 活 動 を 活 性 化 す	N P O 等 の 組 織 ・ 団 体 を 育 成 ・ 支 援 す る	ボ ラ ン テ ィ ア ・ 等 の 組 織 ・ 団 体 を 育 成 ・ 支 援 す る	そ の 他	無 回 答
全体		701 100.0	190 27.1	80 11.4	316 45.1	245 35.0	254 36.2	156 22.3	56 8.0	118 16.8	112 16.0	20 2.9	60 8.6						
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	63 25.6	27 11.0	114 46.3	84 34.1	108 43.9	63 25.6	21 8.5	33 13.4	38 15.4	10 4.1	18 7.3						
	女性	426 100.0	122 28.6	49 11.5	197 46.2	147 34.5	141 33.1	88 20.7	32 7.5	82 19.2	68 16.0	9 2.1	36 8.5						
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129 100.0	33 25.6	18 14.0	53 41.1	56 43.4	54 41.9	37 28.7	13 10.1	22 17.1	22 17.1	5 3.9	2 1.6						
	30歳代	122 100.0	46 37.7	12 9.8	64 52.5	45 36.9	39 32.0	33 27.0	10 8.2	15 12.3	25 20.5	3 2.5	4 3.3						
	40歳代	91 100.0	23 25.3	10 11.0	44 48.4	28 30.8	39 42.9	25 27.5	8 8.8	10 11.0	7 7.7	3 3.3	6 6.6						
	50歳代	78 100.0	19 24.4	9 11.5	40 51.3	28 35.9	29 37.2	19 24.4	3 3.8	9 11.5	15 19.2	3 3.8	5 6.4						
	60歳代	139 100.0	41 29.5	15 10.8	61 43.9	48 34.5	52 37.4	22 15.8	11 7.9	30 21.6	23 16.5	3 2.2	12 8.6						
	70歳以上	117 100.0	24 20.5	13 11.1	50 42.7	31 26.5	38 32.5	17 14.5	8 6.8	29 24.8	14 12.0	2 1.7	25 21.4						
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	10 30.3	6 18.2	13 39.4	7 21.2	8 24.2	7 21.2	5 15.2	8 24.2	5 15.2	1 3.0	6 18.2						
	商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	19 27.1	7 10.0	34 48.6	28 40.0	28 40.0	16 22.9	6 8.6	8 11.4	12 17.1	2 2.9	5 7.1						
	会社員・団体職員・公 務員	196 100.0	57 29.1	15 7.7	99 50.5	68 34.7	75 38.3	56 28.6	20 10.2	27 13.8	27 13.8	8 4.1	8 4.1						
	学生	55 100.0	12 21.8	9 16.4	19 34.5	21 38.2	26 47.3	15 27.3	1 1.8	13 23.6	12 21.8	1 1.8	1 1.8						
	家事（パートタイム含 む）	124 100.0	31 25.0	14 11.3	64 51.6	50 40.3	40 32.3	23 18.5	8 6.5	24 19.4	26 21.0	4 3.2	7 5.6						
	無職	155 100.0	43 27.7	17 11.0	68 43.9	40 25.8	48 31.0	27 17.4	9 5.8	30 19.4	19 12.3	2 1.3	27 17.4						
	その他	40 100.0	12 30.0	9 22.5	12 30.0	20 50.0	23 57.5	10 25.0	4 10.0	4 10.0	5 12.5	1 2.5	0 0.0						
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	34 27.2	12 9.6	54 43.2	44 35.2	46 36.8	33 26.4	10 8.0	23 18.4	15 12.0	1 0.8	10 8.0					
豊栄地区		74 100.0	24 32.4	6 8.1	39 52.7	24 32.4	24 32.4	16 21.6	5 6.8	8 10.8	10 13.5	3 4.1	5 6.8						
須賀地区		50 100.0	14 28.0	7 14.0	21 42.0	24 48.0	18 36.0	9 18.0	3 6.0	8 16.0	10 20.0	1 2.0	7 14.0						
匠塚地区		58 100.0	14 24.1	6 10.3	25 43.1	20 34.5	17 29.3	13 22.4	3 5.2	11 19.0	8 13.8	1 1.7	6 10.3						
豊和地区		37 100.0	11 29.7	3 8.1	20 54.1	9 24.3	16 43.2	6 16.2	2 5.4	6 16.2	3 8.1	0 0.0	5 13.5						
吉田地区		21 100.0	5 23.8	5 23.8	11 52.4	8 38.1	6 28.6	7 33.3	2 9.5	4 19.0	3 14.3	1 4.8	3 14.3						
飯高地区		23 100.0	6 26.1	4 17.4	10 43.5	9 39.1	10 43.5	5 21.7	0 0.0	8 34.8	4 17.4	0 0.0	1 4.3						
共興地区		39 100.0	17 43.6	5 12.8	25 64.1	12 30.8	10 25.6	8 20.5	3 7.7	5 12.8	4 10.3	1 2.6	1 2.6						
平和地区		51 100.0	10 19.6	7 13.7	20 39.2	16 31.4	22 43.1	13 25.5	3 5.9	5 9.8	7 13.7	4 7.8	3 5.9						
椿海地区		79 100.0	23 29.1	7 8.9	37 46.8	31 39.2	33 41.8	17 21.5	6 7.6	17 21.5	13 16.5	3 3.8	3 3.8						
野田地区		67 100.0	16 23.9	10 14.9	28 41.8	22 32.8	24 35.8	17 25.4	7 10.4	6 9.0	16 23.9	4 6.0	7 10.4						
栄地区		45 100.0	10 22.2	5 11.1	17 37.8	12 26.7	20 44.4	7 15.6	9 20.0	11 24.4	12 26.7	0 0.0	3 6.7						
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市 内に住んでいる	238 100.0	57 23.9	34 14.3	109 45.8	85 35.7	95 39.9	60 25.2	21 8.8	36 15.1	35 14.7	7 2.9	23 9.7					
		匠塚市の出身だが、市 外での居住経験がある	185 100.0	49 26.5	21 11.4	96 51.9	66 35.7	70 37.8	39 21.1	17 9.2	27 14.6	27 14.6	6 3.2	8 4.3					
	県内の他の市町村出身 である	174 100.0	57 32.8	15 8.6	78 44.8	60 34.5	59 33.9	37 21.3	11 6.3	34 19.5	28 16.1	4 2.3	15 8.6						
	県外の出身である	80 100.0	23 28.8	7 8.8	29 36.3	25 31.3	27 33.8	18 22.5	4 5.0	18 22.5	16 20.0	2 2.5	8 10.0						

問9 市民あるいは団体同士が相互に連携し合って活動していくためには、どこがリーダーシップを発揮すべきだと思いますか。（主なもの3つまでに○）

○市民あるいは団体同士が相互に連携し合って活動していくために、リーダーシップを発揮すべきと思うのは、「行政」59.1%が最も多く、次いで「自治会」46.5%、「社会福祉協議会」23.5%と続く。



○30歳代では、「民間企業」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

○農林漁業従事者では、「自治会」の割合が最も高くなっている。

○その他、性別、居住地区別、居住状況別クロス集計の結果は以下のとおり。

		合計	自治会	社会福祉協議会	ボランティア・NPO	学校・PTA	民間企業	専門家	行政	公益法人・団体	その他	無回答
全体		701 100.0	326 46.5	165 23.5	151 21.5	88 12.6	114 16.3	116 16.5	414 59.1	69 9.8	12 1.7	59 8.4
問1-(1) 性別	男性	246 100.0	115 46.7	45 18.3	56 22.8	28 11.4	52 21.1	37 15.0	146 59.3	25 10.2	9 3.7	18 7.3
	女性	426 100.0	196 46.0	113 26.5	89 20.9	57 13.4	61 14.3	77 18.1	251 58.9	43 10.1	2 0.5	36 8.5
問1-(2) 年齢	10・20歳代	129 100.0	63 48.8	24 18.6	32 24.8	28 21.7	26 20.2	14 10.9	75 58.1	13 10.1	2 1.6	6 4.7
	30歳代	122 100.0	62 50.8	21 17.2	29 23.8	19 15.6	34 27.9	22 18.0	72 59.0	17 13.9	1 0.8	6 4.9
	40歳代	91 100.0	39 42.9	21 23.1	17 18.7	15 16.5	15 16.5	16 17.6	51 56.0	6 6.6	6 6.6	6 6.6
	50歳代	78 100.0	39 50.0	22 28.2	11 14.1	6 7.7	9 11.5	13 16.7	52 66.7	9 11.5	1 1.3	3 3.8
	60歳代	139 100.0	65 46.8	35 25.2	28 20.1	7 5.0	20 14.4	27 19.4	88 63.3	15 10.8	1 0.7	12 8.6
	70歳以上	117 100.0	45 38.5	36 30.8	29 24.8	9 7.7	8 6.8	22 18.8	64 54.7	9 7.7	0 0.0	21 17.9

	合計	自治会	議社 会 福 祉 協	ア ボ ラ ン テ イ	P 学 校 T A ・	民 間 企 業	専 門 家	行 政	団 公 益 法 人 ・	そ の 他	無 回 答		
全体	701 100.0	326 46.5	165 23.5	151 21.5	88 12.6	114 16.3	116 16.5	414 59.1	69 9.8	12 1.7	59 8.4		
問1-(3) 職業	農林漁業	33 100.0	22 66.7	10 30.3	9 27.3	4 12.1	1 3.0	3 9.1	17 51.5	4 12.1	2 6.1	3 9.1	
	商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	25 35.7	19 27.1	13 18.6	5 7.1	19 27.1	11 15.7	45 64.3	6 8.6	2 2.9	5 7.1	
	会社員・団体職員・公 務員	196 100.0	101 51.5	41 20.9	38 19.4	30 15.3	44 22.4	28 14.3	124 63.3	21 10.7	4 2.0	6 3.1	
	学生	55 100.0	28 50.9	8 14.5	12 21.8	17 30.9	7 12.7	2 3.6	29 52.7	6 10.9	0 0.0	3 5.5	
	家事（パートタイム含 む）	124 100.0	45 36.3	31 25.0	30 24.2	17 13.7	19 15.3	31 25.0	73 58.9	13 10.5	0 0.0	11 8.9	
	無職	155 100.0	70 45.2	40 25.8	35 22.6	11 7.1	17 11.0	27 17.4	92 59.4	15 9.7	0 0.0	22 14.2	
	その他	40 100.0	20 50.0	10 25.0	8 20.0	1 2.5	5 12.5	9 22.5	20 50.0	4 10.0	3 7.5	4 10.0	
	問1-(4) 居住地区	中央地区	125 100.0	58 46.4	27 21.6	32 25.6	11 8.8	23 18.4	25 20.0	69 55.2	11 8.8	2 1.6	7 5.6
豊栄地区		74 100.0	38 51.4	16 21.6	13 17.6	9 12.2	15 20.3	9 12.2	47 63.5	7 9.5	2 2.7	6 8.1	
須賀地区		50 100.0	22 44.0	13 26.0	13 26.0	9 18.0	6 12.0	8 16.0	28 56.0	6 12.0	1 2.0	6 12.0	
匝瑳地区		58 100.0	19 32.8	11 19.0	11 19.0	7 12.1	11 19.0	12 20.7	29 50.0	4 6.9	0 0.0	8 13.8	
豊和地区		37 100.0	18 48.6	13 35.1	12 32.4	5 13.5	2 5.4	3 8.1	21 56.8	3 8.1	0 0.0	5 13.5	
吉田地区		21 100.0	14 66.7	8 38.1	4 19.0	2 9.5	3 14.3	3 14.3	15 71.4	2 9.5	0 0.0	0 0.0	
飯高地区		23 100.0	15 65.2	10 43.5	5 21.7	2 8.7	3 13.0	3 13.0	14 60.9	3 13.0	0 0.0	2 8.7	
共興地区		39 100.0	20 51.3	10 25.6	6 15.4	5 12.8	7 17.9	5 12.8	24 61.5	8 20.5	0 0.0	3 7.7	
平和地区		51 100.0	21 41.2	11 21.6	9 17.6	8 15.7	8 15.7	8 33.3	17 68.6	35 9.8	5 0.0	3 5.9	
樺海地区		79 100.0	37 46.8	14 17.7	17 21.5	9 11.4	8 10.1	12 15.2	52 65.8	8 10.1	1 1.3	6 7.6	
野田地区		67 100.0	24 35.8	17 25.4	17 25.4	9 13.4	16 23.9	6 9.0	35 52.2	4 6.0	3 4.5	6 9.0	
栄地区		45 100.0	22 48.9	9 20.0	6 13.3	7 15.6	9 20.0	9 20.0	29 64.4	7 15.6	2 4.4	1 2.2	
問1-(5) 居住状況		生まれてからずっと市 内に住んでいる	238 100.0	107 45.0	60 25.2	45 18.9	32 13.4	39 16.4	41 17.2	124 52.1	23 9.7	4 1.7	23 9.7
		匝瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	185 100.0	80 43.2	40 21.6	42 22.7	19 10.3	33 17.8	39 21.1	117 63.2	18 9.7	2 1.1	15 8.1
	県内の他の市町村出身 である	174 100.0	98 56.3	45 25.9	41 23.6	30 17.2	28 16.1	20 11.5	107 61.5	19 10.9	1 0.6	10 5.7	
	県外の出身である	80 100.0	28 35.0	15 18.8	18 22.5	4 5.0	13 16.3	14 17.5	54 67.5	9 11.3	4 5.0	6 7.5	

II-4. まちづくりへの関心・協働の認知度からみる考察

(1) 地域活動・協働について

- 「協働」という言葉を知っている人ほど、まちづくりや地域活動に関心がある傾向がみられる。一方で、まちづくりや地域活動に「とても関心がある」人でも、「協働」という言葉を内容まで知っている人は2割程度となっており、4割が「初めて聞いた」と回答しており、「協働」という言葉が市民に浸透していない状況がうかがえる。

		合計	問2 まちづくりや地域づくりへの関心				無回答
			とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	
全体		701 100.0	85 12.1	385 54.9	187 26.7	28 4.0	16 2.3
問5 「協働」という言葉について	以前から内容まで知っていた	53 100.0	18 34.0	29 54.7	2 3.8	2 3.8	2 3.8
	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	193 100.0	28 14.5	128 66.3	30 15.5	5 2.6	2 1.0
	初めて聞いた	437 100.0	32 7.3	221 50.6	151 34.6	21 4.8	12 2.7

		合計	問5 「協働」という言葉について			無回答
			以前から内容まで知っていた	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	初めて聞いた	
全体		701 100.0	53 7.6	193 27.5	437 62.3	18 2.6
問2 まちづくりや地域づくりへの関心	とても関心がある	85 100.0	18 21.2	28 32.9	32 37.6	7 8.2
	ある程度関心がある	385 100.0	29 7.5	128 33.2	221 57.4	7 1.8
	あまり関心がない	187 100.0	2 1.1	30 16.0	151 80.7	4 2.1
	まったく関心がない	28 100.0	2 7.1	5 17.9	21 75.0	0 0.0

(2) 地域活動への参加状況について

○ まちづくりや地域づくりへの関心が高いほど、地域活動に参加している人の割合が高くなっている。「協働」という言葉について、内容まで知っている人は参加している人の割合が高くなっているが、聞いたことがあっても内容を知らない人では、初めて聞いた人と大きな差はみられない。

○ 活動内容について、関心度合いによる違いはみられない。

		合計	問4 地域活動への参加				
			よく参加している	たまに参加している	以前は参加していたが、今は参加していない	参加したことがない	無回答
全体		701 100.0	73 10.4	199 28.4	125 17.8	295 42.1	9 1.3
問2 まちづくりや地域づくりへの関心	とても関心がある	85 100.0	27 31.8	23 27.1	12 14.1	23 27.1	0 0.0
	ある程度関心がある	385 100.0	39 10.1	132 34.3	72 18.7	139 36.1	3 0.8
	あまり関心がない	187 100.0	5 2.7	36 19.3	35 18.7	111 59.4	0 0.0
	まったく関心がない	28 100.0	0 0.0	5 17.9	4 14.3	19 67.9	0 0.0
問5 「協働」という言葉について	以前から内容まで知っていた	53 100.0	14 26.4	19 35.8	10 18.9	8 15.1	2 3.8
	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	193 100.0	18 9.3	62 32.1	36 18.7	77 39.9	0 0.0
	初めて聞いた	437 100.0	37 8.5	114 26.1	75 17.2	205 46.9	6 1.4

		合計	問4-2 活動内容										
			活 清 動 掃 活 活 動 ・ 美 化	リ サイ クル 活 動	地 学 校 支 援 活 動 ・	大 ス ポ ー ツ 活 動 ・	承 地 域 の 保 護 文 化 継	ア 観 光 ボ ラン ティ	ア 福 祉 ボ ラン ティ	動 見 守 り ・ 防 犯 活	防 災 活 動	そ の 他	無 回 答
全体		397 100.0	217 54.7	85 21.4	84 21.2	98 24.7	61 15.4	7 1.8	32 8.1	46 11.6	52 13.1	24 6.0	16 4.0
問2 まちづくりや地域づくりへの関心	とても関心がある	62 100.0	34 54.8	13 21.0	16 25.8	17 27.4	11 17.7	2 3.2	9 14.5	10 16.1	7 11.3	4 6.5	2 3.2
	ある程度関心がある	243 100.0	134 55.1	50 20.6	46 18.9	56 23.0	38 15.6	5 2.1	20 8.2	23 9.5	35 14.4	13 5.3	10 4.1
	あまり関心がない	76 100.0	38 50.0	16 21.1	17 22.4	19 25.0	8 10.5	0 0.0	3 3.9	10 13.2	9 11.8	7 9.2	3 3.9
	まったく関心がない	9 100.0	8 88.9	4 44.4	1 11.1	4 44.4	2 22.2	0 0.0	0 0.0	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0
問5 「協働」という言葉について	以前から内容まで知っていた	43 100.0	26 60.5	11 25.6	13 30.2	10 23.3	8 18.6	2 4.7	4 9.3	7 16.3	9 20.9	2 4.7	1 2.3
	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	116 100.0	57 49.1	23 19.8	25 21.6	26 22.4	20 17.2	2 1.7	12 10.3	13 11.2	11 9.5	9 7.8	5 4.3
	初めて聞いた	226 100.0	129 57.1	49 21.7	46 20.4	60 26.5	32 14.2	3 1.3	14 6.2	24 10.6	31 13.7	13 5.8	8 3.5

(3) 参加したきっかけについて

○ まちづくりや地域づくりに「とても関心がある」人では、「地域とのつながりを持っていたいから」の割合が最も高くなっている。また、関心が高い人ほど、「よりよい地域づくりに貢献したいから」、「活動内容が楽しそうだったから」、「自分のためになりそうだったから」など、積極的な理由の割合が高い傾向がみられる。

		合計	問4-3 参加したきっかけ							
			か友 ら人 ・ 知 人 に 誘 わ れ た	だ活 つ動 た内 か容 ら楽 し そ う	だ自 つ分 たの かた め に な り そ う	貢 よ 献 し よ い 地 か域 づ く り に	持 地 つ域 と の つ な が り を	か参 つ加 たし な回 らり や 当 番 な ら な ど で	そ の 他	無 回 答
全体		397 100.0	128 32.2	59 14.9	65 16.4	85 21.4	141 35.5	197 49.6	18 4.5	6 1.5
問2 まちづくりや地域づくりへの関心	とても関心がある	62 100.0	20 32.3	18 29.0	15 24.2	22 35.5	25 40.3	24 38.7	3 4.8	2 3.2
	ある程度関心がある	243 100.0	80 32.9	36 14.8	46 18.9	58 23.9	95 39.1	117 48.1	9 3.7	3 1.2
	あまり関心がない	76 100.0	22 28.9	5 6.6	2 2.6	4 5.3	16 21.1	48 63.2	5 6.6	0 0.0
	まったく関心がない	9 100.0	4 44.4	0 0.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2	5 55.6	1 11.1	0 0.0
問5 「協働」という言葉について	以前から内容まで知っていた	43 100.0	13 30.2	11 25.6	6 14.0	13 30.2	14 32.6	20 46.5	4 9.3	0 0.0
	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	116 100.0	42 36.2	20 17.2	25 21.6	31 26.7	48 41.4	54 46.6	4 3.4	2 1.7
	初めて聞いた	226 100.0	70 31.0	28 12.4	31 13.7	38 16.8	73 32.3	121 53.5	10 4.4	2 0.9

(4) まちづくりに関してやったことがあること

○ 地域づくりに「とても関心がある」人でも、市長の所信表明・マニフェストや総合計画などの各種計画を見ることはあっても、意見を提出したり、意思決定の場に参加するなど、市政に参画している人は少ない状況である。

○ 「協働」という言葉を知っている、あるいは聞いたことがある人は、初めて聞いた人に比べて、市長の所信表明・マニフェストや総合計画などの各種計画を見たことがある人の割合が高く、その辺りから情報を得ている状況がうかがえる。

	合計	問6 まちづくりに関してやったことがあること									
		たマ市をに総 こニ長の見合 がエのす計 あスト信事 るト表明 見・画 政	をに総 見合 たす計 こる各 があ種 る計市 画政	こトバ とにブ があリ るツ ク 出 し た メ ン	たでー こ意見市 があが長 る・へ 提案の をし手 紙	がグタ あるに参 加ミ した テ イ ン	と議 があ会 るを傍 聴し た こ こ	る公計 募画の した策 こと定 が委員 があに	そ の 他	無 回 答	
全体	701 100.0	238 34.0	151 21.5	1 0.1	18 2.6	18 2.6	25 3.6	2 0.3	64 9.1	338 48.2	
問2 まちづくりや地域づくりへの関心	とても関心がある	85 100.0	44 51.8	32 37.6	1 1.2	5 5.9	8 9.4	6 7.1	1 1.2	5 5.9	26 30.6
	ある程度関心がある	385 100.0	153 39.7	92 23.9	0 0.0	11 2.9	7 1.8	14 3.6	1 0.3	25 6.5	176 45.7
	あまり関心がない	187 100.0	35 18.7	23 12.3	0 0.0	1 0.5	2 1.1	3 1.6	0 0.0	28 15.0	109 58.3
	まったく関心がない	28 100.0	2 7.1	1 3.6	0 0.0	1 3.6	1 3.6	1 3.6	0 0.0	5 17.9	18 64.3
問5 「協働」という言葉について	以前から内容まで知っていた	53 100.0	25 47.2	25 47.2	1 1.9	1 1.9	3 5.7	5 9.4	1 1.9	4 7.5	18 34.0
	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	193 100.0	87 45.1	66 34.2	0 0.0	10 5.2	4 2.1	7 3.6	1 0.5	18 9.3	58 30.1
	初めて聞いた	437 100.0	123 28.1	59 13.5	0 0.0	7 1.6	11 2.5	10 2.3	0 0.0	41 9.4	250 57.2

(5) 協働を進めるために重要なこと

- 「まったく関心がない」人以外では、「市の施策・事業に関する情報を積極的に公開すること」の割合が最も高くなっている。
- 「まったく関心がない」人では、「意見を聞く機会」や「話し合う機会」を重要視しており、実際に市民の声が市政に反映される実感を得ることが、まちづくりへの関心につながるものと考察される。

	合計	問8 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、重要なこと												
		地域活動の拠点を充実させる	地域活動を行う団体同士の交流促進や研究	積極的に公開する	市の施策・事業に関する情報を積	市民・地域の意見を聞く機会を充	実させる	市民と行政とが話し合う機会を充	市民や団体等が企画提案できる機	地域の自主性に任せる事業を増や	市民自身が主体的に行う活動を活	団体を育成・支援する	ポランテア・NPO等の組織・	その他
全体	701 100.0	190 27.1	80 11.4	316 45.1	245 35.0	254 36.2	156 22.3	56 8.0	118 16.8	112 16.0	20 2.9	60 8.6		
問2 まちづくりや地域づくりへの関心	とても関心がある	85 100.0	31 36.5	12 14.1	40 47.1	30 35.3	37 43.5	20 23.5	7 8.2	22 25.9	11 12.9	3 3.5	6 7.1	
	ある程度関心がある	385 100.0	109 28.3	47 12.2	187 48.6	141 36.6	140 36.4	79 20.5	31 8.1	73 19.0	67 17.4	11 2.9	22 5.7	
	あまり関心がない	187 100.0	45 24.1	19 10.2	73 39.0	58 31.0	61 32.6	49 26.2	16 8.6	19 10.2	29 15.5	4 2.1	26 13.9	
	まったく関心がない	28 100.0	3 10.7	0 0.0	10 35.7	11 39.3	11 39.3	6 21.4	1 3.6	1 3.6	2 7.1	2 7.1	5 17.9	
問5 「協働」という言葉について	以前から内容まで知っていた	53 100.0	15 28.3	9 17.0	26 49.1	21 39.6	26 49.1	11 20.8	6 11.3	9 17.0	13 24.5	3 5.7	1 1.9	
	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	193 100.0	65 33.7	29 15.0	89 46.1	78 40.4	72 37.3	46 23.8	17 8.8	44 22.8	30 15.5	2 1.0	6 3.1	
	初めて聞いた	437 100.0	108 24.7	41 9.4	195 44.6	144 33.0	154 35.2	97 22.2	32 7.3	65 14.9	69 15.8	15 3.4	42 9.6	

(6) 市民・団体相互の連携にリーダーシップを発揮すべき主体

○ まちづくりの関心度合いや協働の認知度にかかわらず、「行政」の割合が最も高くなっている。

		合計	問9 市民あるいは団体同士が相互に連携し合って活動していくため									
			自治会	社会福祉協議会	N P O	ボランティア	学校・PTA	民間企業	専門家	行政	公益法人・団体	その他
全体		701 100.0	326 46.5	165 23.5	151 21.5	88 12.6	114 16.3	116 16.5	414 59.1	69 9.8	12 1.7	59 8.4
問2 まちづくりや地域づくりへの関心	とても関心がある	85 100.0	42 49.4	18 21.2	20 23.5	15 17.6	17 20.0	16 18.8	49 57.6	10 11.8	4 4.7	5 5.9
	ある程度関心がある	385 100.0	182 47.3	105 27.3	90 23.4	45 11.7	58 15.1	64 16.6	246 63.9	34 8.8	6 1.6	24 6.2
	あまり関心がない	187 100.0	90 48.1	37 19.8	33 17.6	22 11.8	32 17.1	29 15.5	100 53.5	23 12.3	1 0.5	22 11.8
	まったく関心がない	28 100.0	6 21.4	2 7.1	5 17.9	6 21.4	5 17.9	4 14.3	13 46.4	0 0.0	1 3.6	6 21.4
問5 「協働」という言葉について	以前から内容まで知っていた	53 100.0	21 39.6	12 22.6	12 22.6	4 7.5	6 11.3	13 24.5	29 54.7	7 13.2	2 3.8	3 5.7
	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	193 100.0	98 50.8	56 29.0	49 25.4	32 16.6	36 18.7	37 19.2	126 65.3	21 10.9	2 1.0	5 2.6
	初めて聞いた	437 100.0	205 46.9	94 21.5	87 19.9	51 11.7	70 16.0	65 14.9	255 58.4	40 9.2	8 1.8	40 9.2

II-5. その他の回答及び自由意見

(1) 職業

年齢	性別	問 1-(3) 職業
10・20 歳代	男性	講師
10・20 歳代	女性	フリーター
10・20 歳代	女性	主婦
30 歳代	男性	養鶏
30 歳代	男性	自営
30 歳代	女性	自営業
30 歳代	女性	自営業
30 歳代	女性	契約社員
40 歳代	男性	建設業兼農業
40 歳代	男性	建設業
40 歳代	女性	医院事務
40 歳代	女性	保育士
40 歳代	女性	自営
40 歳代	女性	児童福祉事業
40 歳代	女性	主婦
50 歳代	男性	自営業、畳屋
50 歳代	女性	畜産業
50 歳代	女性	自営事務
50 歳代	女性	会社役員
50 歳代	女性	嘱託職員
50 歳代	女性	自営
60 歳代	男性	定年退職
60 歳代	男性	運送業
60 歳代	男性	社会福祉知的障害施設
60 歳代	女性	介護職員
60 歳代	女性	親の介護
60 歳代	女性	介護福祉士(サービス提供責任者)
60 歳代	女性	主婦
60 歳代	女性	訪問ヘルパー
60 歳代	女性	主婦
70 歳以上	男性	牧師
70 歳以上	女性	自営業
70 歳以上	女性	主婦業のみ

年齢	性別	問 1-(3) 職業
70 歳以上	女性	農業
70 歳以上	女性	世話人
70 歳以上	女性	主婦
70 歳以上	女性	主婦
70 歳以上	-	農作業手伝い

(2) 地域活動への参加状況について

①参加している活動団体

年齢	性別	問 4-1 参加している活動団体
10・20 歳代	男性	ゴミゼロ運動等
10・20 歳代	男性	お囃子連
10・20 歳代	男性	緑の少年団
30 歳代	女性	お子安講
30 歳代	女性	保健センターの母親学級
30 歳代	女性	小学校で子供達にボランティア
40 歳代	男性	交通安全協会
40 歳代	女性	お子安講
50 歳代	男性	環境保全、防犯パトロール、廃品回収
50 歳代	男性	部落、はやし連
50 歳代	女性	生涯学習の講座とそれにとまなう発表など。
50 歳代	女性	部落の清掃
50 歳代	女性	歩け歩け大会、仲良し会
50 歳代	女性	保健推進委員、交通安全協会
50 歳代	女性	お子安講
50 歳代	女性	安全協会
60 歳代	男性	地域の草刈、神社の掃除など。
60 歳代	女性	市の保健推進員の活動
60 歳代	女性	歌を通じて地域のコミュニケーションと活性化に貢献している。
60 歳代	女性	安全協会、保健推進委員
60 歳代	女性	保健推進員
60 歳代	女性	保健推進員として。
60 歳代	女性	保健推進員
70 歳以上	男性	神社
70 歳以上	男性	防犯協会
70 歳以上	男性	どぶ掃除、生ごみ掃除
70 歳以上	男性	安全協会豊栄支部長その他

年齢	性別	問 4-1 参加している活動団体
70 歳以上	女性	踊りの会
70 歳以上	女性	創価学会ボランティア活動
70 歳以上	女性	保健推進委員、弁当づくり
70 歳以上	女性	読書会
-	-	祭り

②活動内容

年齢	性別	問 4-2 活動内容
10・20 歳代	男性	旅行
10・20 歳代	男性	お囃子
10・20 歳代	男性	祇園祭、盆踊り
10・20 歳代	女性	ジュニアリーダー
40 歳代	男性	交通安全整備
40 歳代	男性	祭事活動
40 歳代	男性	盆踊り、祭り
50 歳代	男性	はやし連
50 歳代	女性	今までは PTA 活動をしておりました。
50 歳代	女性	ゴミ出しの場所の清掃だけ順番です。
50 歳代	女性	歩け歩け大会、ボランティア
60 歳代	女性	市のお役に立てる事は進んで協力したいと思っています。
60 歳代	女性	地元老人ホームの行事の際、参加お手伝い。
60 歳代	女性	食改善
60 歳代	女性	檀林コンサート、炊き出し、独居老人弁当作り等
70 歳以上	女性	文化祭、よかっぺ祭り、藤祭りなどに参加する。
70 歳以上	女性	サークル

③参加したきっかけ

年齢	性別	問 4-3 参加したきっかけ
10・20 歳代	男性	学校でやっていたから。
10・20 歳代	男性	学校や地域クラブでの参加。
10・20 歳代	男性	学校の行事だったから。
10・20 歳代	女性	小学校入学と同時に。
10・20 歳代	女性	親に誘われたため。
30 歳代	女性	子ども会は全員参加でした。
30 歳代	女性	習慣

年齢	性別	問 4-3 参加したきっかけ
30 歳代	女性	当然の事だと思ったから。
40 歳代	女性	子どもが在学中のため。
40 歳代	女性	子どもの学校行事の延長。
50 歳代	女性	仕方なく。
60 歳代	女性	孫たちに頼まれて(学校教育で)
60 歳代	女性	お世話になっている社会全体に恩返ししたいから。
70 歳以上	男性	交通事故を無くすよう、平成 2 年より現在まで地区支部長をしております。
-	-	民生児童委員になったことで。

④参加していない理由

年齢	性別	問 4-4 参加していない理由
10・20 歳代	男性	どこで何をやっているかわからない。
10・20 歳代	男性	親の代がまだ参加しているから。
30 歳代	男性	地域の活動が定かでない。
30 歳代	男性	引越してきたので。
30 歳代	女性	余暇は家族と一緒にできることを優先したい。
30 歳代	女性	引越して来たために、地域の様子がわからない。
30 歳代	女性	地域活動自体がない。
40 歳代	男性	出られない。
40 歳代	女性	個人で地域猫活動他をしています。
40 歳代	女性	他の地域で参加しているので十分です。
40 歳代	女性	まだ参加する機会がないです。
50 歳代	女性	退職したばかりなので
50 歳代	女性	参加する必要がない(居候なので)。
60 歳代	女性	一緒に活動する時間の人がない。
60 歳代	女性	何もなかったため。
70 歳以上	女性	つい最近まで介護があり、自分の年齢を考えても、かえって邪魔になるのではないかと尻込みしてしまう。

(3) 協働に対する考え方について

①まちづくりに関してやったことがあること

年齢	性別	問 6 まちづくりに関してやったことがあること
10・20 歳代	女性	疑問点や提案など、市役所に直接話す。
10・20 歳代	女性	興味がない。
30 歳代	男性	しかたなく消防団のみ参加しています。
30 歳代	女性	匝瑳市が実施したアンケートに回答した。
30 歳代	女性	新聞に挟まれているものを見た。
40 歳代	男性	要請・要望・抗議
40 歳代	女性	議会をネットで見たことがある。
40 歳代	女性	環境生活課に野良・地域猫対策の取り組みを聞きに行きました。
50 歳代	女性	教育委員会の方に意見を伝えてもらった。
50 歳代	女性	議会など、傍聴したくても、いつあるのか。
60 歳代	女性	毎年チャリティ募金を市に寄付しています。
70 歳以上	女性	広報は隈無く読ませていただいております。
-	男性	別に期待していない。

②市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで重要なこと

年齢	性別	問 8 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、重要なこと
10・20 歳代	男性	治安を良くする。不良を指導する。
10・20 歳代	男性	どうでもいい。
10・20 歳代	男性	勤めている人が出席できるように土日に機会を作る。
10・20 歳代	男性	上記(9 項目)に加え、それらの意見を反映させていく事。
10・20 歳代	女性	色々な年代、人が参加しやすい”きっかけ”作りの場をつくる。
30 歳代	男性	オムツ券など子育てに関する政策。
30 歳代	男性	会社の誘致を進める。
30 歳代	女性	取組について知らない人が多いと思うので、市民に周知する。
30 歳代	女性	個々の個人一人一人や、個々の事業主さんたちが個性を輝かすための教育等。
40 歳代	男性	公情、情報発信
40 歳代	女性	いつ、どこで、どんな、誰が、どういう理由で、こういうことをするので、参加したい人は、どこどこまで…といった情報を確認する機会が増えると良い。
50 歳代	女性	市民の方々の意識が向くような…
50 歳代	女性	市民の小さな不満を聞くとところがある。
50 歳代	女性	全てのコミュニケーションが足りない。
60 歳代	女性	市民の意見は参考としてしっかり聞いてほしいです。
60 歳代	女性	企業誘致

年齢	性別	問 8 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、重要なこと
-	男性	期待しない！
-	-	核となる人材の育成。

③どこがリーダーシップを発揮すべきか

年齢	性別	問 9 市民あるいは団体同士が相互に連携し合って活動していくために、どこがリーダーシップを発揮すべきか
10・20 歳代	男性	知らない。
10・20 歳代	男性	スポーツなどの団体。
30 歳代	男性	意欲的な市議
30 歳代	女性	個人一人一人。
40 歳代	男性	市民
40 歳代	男性	内容による。
40 歳代	男性	高校生
40 歳代	男性	代表議会議員
40 歳代	女性	活動内容や中身によって、1～8のそれぞれがリーダーになるのでは。それぞれの専門性を活かせることができるとよい。
40 歳代	女性	すすめていく活動の専門家や経験者・現場の人。
-	男性	期待しないです。
-	-	市役所

(4) 自由意見

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
10・20 歳代	男性	若者も一緒にまちづくりをできるように、昔ながらの習慣を取り入れるだけではなく、新しい習慣も取り入れるべき。
10・20 歳代	男性	勧誘理由は分かりませんが、消防団のしつこい勧誘はやめさせた方がいいかと思う。
10・20 歳代	男性	まわりがお年寄りだけで、子どもや若い人がいない。年をとっても元気で生活できる地域にいたいと思う。
10・20 歳代	男性	関係があるかどうか分からないが、当方の居住地区にしっかりとゴミステーションがない。(市内を車で走っていても、「ゴミステーションだ」とわかるものを見たこともない。)以前住んでいた市では、きちんと掲示され、ごみを置いておく場所も整備されていた。ここではゴミの捨て方がよくわからない。きちんと設置していただきたい。(市内全域)
10・20 歳代	男性	公園を新しく作るのは無理にしても、今ある公園の存続をしっかりとってほしい。
10・20 歳代	男性	お金がどのように使われているか詳しく知りたいです。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
10・20 歳代	男性	行政がもっとしっかりする。市民からのお金を、たいして目を通さないようなことに使わずに、有効に使ってほしい。
10・20 歳代	男性	意見交換会を開く。
10・20 歳代	男性	こういうアンケートは真面目に答えたいが、情報が無さすぎる。行政側がそこら辺にポスターを貼る程度では伝わるわけがない。市民やマスコミに自分たちから「詳しく知りたい」と思わせ、口コミやネットで広がるような企画にしたり、宣伝を考える事が大事。真面目な企画だから厳粛に進める時代はとっくに終わっている。
10・20 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車に対しての決まりが厳しくなったが、道路の幅が狭く、自転車が通るには厳しいので、道路の整備をしてほしい。 ・近くに専門的なものを学べる場所がないから、近くに建ててほしい。特に、専門、大学など高校の後で学べる場所がないので困る。 ・歯並びが悪いと矯正を病院では勧められるのに、保険がきかず、実費で払わないといけないから大変。自分が働くようになったら払えと親に言われているが、とても払える金額ではないので、保険が対応できたり補助金が出るとか制度を変えてほしい。
10・20 歳代	男性	協働という行いをどの程度やっているのか知りませんので、意見としてもうやっているかもしれませんが、地域の中で関心のある人を集めることが重要だと思います。例えば、小中学校等を巻き込んで行えることを市が提案する等、そうすれば少なくとも保護者は多少の関心を持つのではないのでしょうか。普通の大人は恐らくほとんど関心がないので、まずはそこからだと私は考えました。
10・20 歳代	男性	道をきれいにしてください。
10・20 歳代	女性	もっと自分の育った地域について知りたい、よりよくしたい気持ちがある。実際に行動に移せていない人が自分のように多くいると思う。より分かりやすく手軽に情報を知れるように、また、参加しやすくなると良い。
10・20 歳代	女性	匝瑳市は商店街がシャッター通りとなり、新しい企業や事業があまり入ってこないように感じる。旭市は次々に店が増える一方、匝瑳市は潤いを感じる事が少ない。そのことも人口減少につながっているのでは。ただ、こどもの医療費の無料化など、暮らしやすい制度は大変有難く、今後も生活が楽になる制度を充実させていただきたいと思う。
10・20 歳代	女性	「協働」を初めて知った。私たち学生にももっと身近に感じられるように、広報などに掲載していただければ、もっと地域の活動に積極的に考えたりするのではないかと思った。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
10・20 歳代	女性	若者が気軽にボランティアに参加できる環境があると良いと思う。匝瑳市は海も山もあり、自然豊かな地域なので、ゴミゼロ運動や小さな子ども達に自然の大切さを教える活動をしてみたい。また、無線などで情報を流すだけでなく、他にも違う方法で市の情報がわかれば、様々なイベントが開催でき、興味も湧きやすいと思う。匝瑳市のためにがんばって下さい！
10・20 歳代	女性	市役所まわりは外灯があつたり環境が整っていると思いますが、市役所から離れたところは外来種の花があつたり、外灯が少なかったり、あまり整っているとは思えません。なので、もう少し市民と話し合う機会を増やしたり、市内をみまわってみたりしてほしいと思います。
10・20 歳代	女性	まだ学生だからという理由もあると思いますが「協働」という言葉や活動内容がいまいち把握できません。私たち学生でもできることがあるなら行きたいと思いました。具体的にどんなことをしていったら良いのかわかりやすく説明してくれる場が欲しいと思います。
10・20 歳代	女性	ふるさと納税の特典品をもっと増やしてほしいです。あと、公園をつくってほしいです。今ある公園の遊具が少なくてさびしいです。歩道がすごくガタつくところがあり、自転車で走る時危ないので直してほしいです。隣にある旭市や光町にあるようなテニスコート(ナイター用)とか、ジムみたいに身体を動かせる場所がほしいです。よろしくおねがいします。
10・20 歳代	女性	若者が楽しめる施設が少ない。田舎ならではの良さはあっていいのですが、遊ぶ場所は他市、他県にまでいかないと無いのは、若者が匝瑳市を出て行ってしまう理由のひとつだと思います。
10・20 歳代	女性	旭市で年に2回行われている village みたいなイベントをぜひ匝瑳市でもしてほしい。匝瑳市としての特色があつたら良いと思います。
10・20 歳代	女性	何をどこで何時からボランティアなどがあるかわかりやすくしてほしいです。私もボランティアは積極的に行っていこうと考えています。
10・20 歳代	女性	駅までのバスを増やしてほしい。(駅から市内)増やせば学生、老人は使うと思う。
10・20 歳代	女性	フットサルができる場所が欲しい。
10・20 歳代	女性	野田・栄循環バスなのですが、とても人数が多く長い時間立ったままの人もいます。前は野田と栄、別であったのに同じにしてから少しだけ不便になったと思います。
10・20 歳代	女性	行政や社会福祉協議会があまり市民のためになる活動をしているとは思えない。もっと市民の声に耳を傾けるべきではないかと感じます。
10・20 歳代	女性	平日は仕事で休日は休養と自分の趣味が優先されて、あまり興味がない。義務だとしたら参加するかも。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
10・20 歳代	女性	匝瑳市がどのようにまちづくりしているのか、まずわからない。もっと情報を提示していき、若い世代にも周知させていき、問題意識を持たせ、まちづくりに参加していくべきであると思う。私が住んでいる所は、市民同士の交流がないと思う。住民が少ないからこそ団結力を高め、いざという時にマンパワーを積み上げていく必要があると思う。
30 歳代	男性	①取り組みの目的を設定する前提として、問 9 で掲げた団体から、市の抱える課題について行政が意見を吸い上げる。 ②①の意見から、行政がリーダーシップを発揮し、目的を設定する。 ③目的達成に向けて、行政や問 9 で掲げた団体がリーダーシップを発揮し、協働するというのはいかがか。 「協働」が大切な概念なのはわかったが、問 6 のようなことをしても、「目的」が見えてこないような気がした。 ※匝瑳市がよりよい市となるよう、応援している。
30 歳代	男性	オムツ券など子育てに関する施策を増やすと若い世代の人口増加につながるのではないか。
30 歳代	男性	医療費助成の充実（不妊治療の助成、県だけでなく市でも）
30 歳代	男性	契約社員を正社員へ。
30 歳代	男性	匝瑳市は道が悪すぎる。抜け道に使われているところを舗装してもらいたいです。道路がガタガタ。
30 歳代	男性	匝瑳市総合計画に賛同です。良い匝瑳市にしてください。待望して日時を過ごします。
30 歳代	男性	どの家庭も核家族で人数が少なくなっていますが、各部落、各家で出席しなければいけない行事等すらまともにできていない状態。まずは市全体より部落行事、町内から考えなおさないとの意味もない。選挙すら行く気になれません。
30 歳代	男性	市外から人を呼べ、お金を使ってもらえるイベントを考える必要があると思うが、市でこの辺りを本気で取り組んでいるとは思えない。唯一集客力のある祇園祭を市では軽視していると思う。佐原などの成功したまちを勉強したほうが良いと思う。
30 歳代	男性	地域が活性化するよう、いろいろな面で活動することを願っています。
30 歳代	女性	地方創生の話も聞かれるようになりましたが、持続可能なまちには協働の考え方が不可欠なのだと思います。
30 歳代	女性	自治体に入っているが、地区内での催しがゴミゼロ運動などで、以前のようにイベントのようなものがなくなった。より一層ご近所とのお付き合いも薄れていくのではと思う。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
30 歳代	女性	<p>・地域の婦人会みたいなものに参加しているが、若い人がいないので、地域の催事などの負担が少数の人々にかかっていると感じる。消防団の活動も同様かと思う。新しく土地に移ってきた人たちはそのような地域活動には参加もないので、地域活動の限界を感じる。新しい形で地域活動を継続できるようになればと思う。</p> <p>・地方ということもあり、市民がどんどん減少しているようだが、住みやすいまち、人を呼び込めるまちにするために、市としてはどのような取組が必要かと思うか。私は県内の別の市から越してきたが、まず匝瑳市のゴミ袋などが高いことに驚いた。資源ごみの処理にもお金がかかるのも。だから近所でゴミを自宅で燃やしている方もいまだにいるのではないか。自宅で燃やすため、野焼き火災もでてくるのではないか。また、街中にある崩れそうな家屋や人が住んでいないと思われるマンションは危険だと思う。子どもたちの通学路になっている場所もあるので。そのようなところが放置状態になっているのも問題ではないか。</p>
30 歳代	女性	協働という言葉は初めて聞いた。説明を読んでもよくわからないので、ちゃんと説明してほしい。
30 歳代	女性	市民に対して、事前に報告や教育委員会、議員の圧力をかけるのはやめてほしい。市民の声をもっと聴くべきである。役所や国が決める前に、市民の声を聴くべきである。市民は税を払って、ただ生きているだけではないはずだ。
30 歳代	女性	活動内容によって、どこがリーダーシップをとるかは違うと思うし、正直、このアンケートを行うことによって、何の成果があるのかよくわからない。やっぱり、これからお年寄りだらけの市になるので、若い人の意見をもっと聞いて、「例年通り」じゃない新しい取り組みをしてもらいたい。
30 歳代	女性	「協働」という言葉は、言いたい意味はわかりますが、具体的にイメージすることが難しいです。「様々な…」 「幅広く…」などの抽象的な言葉がなくても理解できるガイドラインであってほしいです。また、わかりやすくするという点から、情報はひとつにまとまっているといいと思います。
30 歳代	女性	市の人口が減る中で、市民ひとりひとりがまちづくりに関心を持つ機会を行政が増やさなければ市自体がなくなってしまうのでは危機感をもって業務にあたっていただきたい。
30 歳代	女性	住みたいと思うまちにしてほしい。今はこれといった売りが無いように感じる。まちづくりをしている活動をもっとわかるようにしてほしい。
30 歳代	女性	不動産業などへ協力依頼して、招致活動(助成金の説明など)を市外の方へもった方が良くと思います。インターネットへの掲載など。
30 歳代	女性	子ども達が安心して心地よく住める匝瑳市になればよいと思います。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
30 歳代	女性	協働ですすめる事柄によって、参加できそうな事とできない(したくない)と思う事があると感じます。同じ立場戸言ってもやはり差はあると思います。なるほど?!と思えないことは、参加する人も少ないのでは。
30 歳代	女性	郵便局の局印を集めるゆうちょラリーを市内の郵便局に頼んでほしい。ゴム印を絵入りにするだけで、けっこうな人が来ると思われます。千葉県は宝の局がすくないので、いいと思いますよ。是非おねがいします。あと、駅前に無料の駐車場を作ってください。
30 歳代	女性	人口減少が気になる。住むとこんなメリットがあるという点を現在在住の我々にも示してほしい。つくってほしい。若者がもっと市を盛り上げていくべきだ!
30 歳代	女性	若い世代が今まで以上に活躍できる場をつくる。公共施設や民間企業での市民サービス充実を図る。私自身、他市町村出身のため、市内には友人がいません。協働のまちづくりの中で、できることは参加し、友人・知人がたくさんできるといいな、そんな環境が匝瑳市にあるといいな、と思っています。
30 歳代	女性	一部だけではなく、幅広い市民の意見を聞き公正に行政が行われるよう、願います。
30 歳代	女性	旭市で(袋公園で)ゴールデンウィークに行われたマーケットのように、企業、農家、個人等と一緒に大きな催しものをしてほしい。農業まつり、植木まつりなど、していると思うが、目新しいものが何もなく、とてもつまらない。協働と関係ない意見ですみません。市外の人に来たくなるような素敵な市にしてほしいです。
30 歳代	女性	・税金が高い。 ・ゴミ袋が高すぎる。 ・子どもが遊べるきれいで遊具などが充実した施設が少ない。 ・ショッピングモールのようなものが無く不便。
30 歳代	女性	匝瑳市内で自営業を営んでおります。匝瑳市というと、発展しないまちといわれがちですが、この間「発展しないところがいいね」とある方に言われて、そういう考えがあるんだと気づかされました。良い”まちづくり”とは、人が一人一人住みやすく心も体も精神的にも豊かに暮らせることだと思いました。私自身は仕事で個人一人一人が楽しく豊かに、幸せに暮らせるために、教育、いくつになっても学ぶこと、互いに意識を高め、コミュニケーションする場所は大事です。それをまちづくりの協力として日々精進しております。これからは個人の一人一人のライフスタイルが大きなカギとなると考えています。 (人・金・もの・情報)お金⇒性についての教育だと思います。(エイズ問題)正しい知識を広めてほしいです。人が自由に自分自身を表現できるまちになってほしいですね。どうぞよろしくお願い致します。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
40 歳代	男性	人口減少、高齢化で、10 年後には誰もいなくなって、まちづくりを語ることでできなくなる。収入を得る場を増やし、人が集まるようにしなければ、消滅する。
40 歳代	男性	今後、高齢化により空き家がますます増加していくように思う。その対策、有効利用等を市民・行政みんなで考えていく時期にきていると思う。難しい問題だとは思いますが。
40 歳代	男性	匝瑳市に来て 20 年経つが、中心となるものがいまだにわからない。
40 歳代	男性	もっと行政が確固たる目的、指針を打ち出し、積極的に多方面に働きかけないと何も始まらないと思います。
40 歳代	男性	テニスコートを給食センターのとなりに建設予定だが、止めたほうがよい。交通の便が悪く、後々さびれていくのが目に見えている。市役所北側に広大な土地が空いているので、そこに建設するのが妥当だと思う。
40 歳代	男性	「協働」というと聞こえは良いが、具体的に、何を、いつまでに、どのような目的で、誰が責任をもって達成させるのかが見えません。少子高齢化が確実な中、匝瑳市として 10 年後、20 年後、そして 2050 年のあるべき形を考え、話し合い、計画し、実行すべきだと考えます。
40 歳代	男性	一人は万人の為、万人は一人の為を根源とし、互惠尊重の義を果たすべき。
40 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・減農薬、無農薬のお米作りのブランド化 ・地域産業の確立 ・若者が子どもを育てやすい環境作り ・廃校になった小学校などの活用 ・引きこもりの成人の自立する場所を企業と一緒に提供する
40 歳代	男性	ドン・キホーテ、ネットカフェ、モスバーガー、サンドラック等を誘致してください。
40 歳代	男性	職業柄(医療)気になることが多い。高齢化が進み、また、自己主張が強い若い人が多く、地域のつながりが少ないと思う。祭、消防団のつながりが強すぎる。もっと医療や福祉に目を向けてほしいと思います。人が生きるのに大切なものが何なのかを考えていただきたく思います。また、住みやすいまちとは何ですか。
40 歳代	女性	八日市場駅裏の田んぼやカインズホーム裏の踏切の裏の田んぼを埋めて、がんセンターや市民病院を作ったらどうか。匝瑳市は人口が増えると思う。また、電車の快速が来ると思う。匝瑳市は時代遅れだと思う。
40 歳代	女性	地域の活動等は興味のある人はたくさんいると思う。私でいいのかと思ってしまい、積極的になれないので、これからはすこしずつでも参加できたらと思う。
40 歳代	女性	市民の声があっても、なかなか形になりづらいのが今の現状ではないか。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
40 歳代	女性	価値観が多様化した現在において、行政のみでは解決が難しい分野や事項がある。そういった課題について、地域の住民が立体的にその解決方法をみつけていくことが、地域にとっても行政にとってもプラスになると思う。今回のアンケートを含め、積極的に協働について取り組んでいただければ、一市民としてうれしい。がんばってください。
40 歳代	女性	問 6、問 8、難しい言葉ばかり。どこかに頼ることばかり書いてあるように思えて、わからない。
40 歳代	女性	何かを提案しても「予算が」と言われそう。以前、防犯カメラの件で学校に問い合わせたところ、市からは当時「学校の耐震工事が優先で予算がない」と言われたそう。こんな行政の対応では期待はもてない。まちづくりは防犯も一緒に考えてほしい。
40 歳代	女性	”本当に市民が主役のまちをつくる”と考えているならば、今の行政とは全く違う体制になるべきだと思う。市民の意見が中心と考えるなら、市全体が意識改革を本気でやらないと絶対に無理。市民があげた声を本気で聞いてください。
40 歳代	女性	市役所の建物、もっと皆に親んでもらえるように「顔」にみたててみてはどうですか。(今の建物のままで、ペンキで目を描くだけでもインパクト大になり、小さい子が「お顔の建物でしょ！あそこ行こう！」とかなるのでは… 市役所前の公園はいつごろできるのでしょうか。県内外に見本となるよい公園、遊具があると思うので、どんなものを使ってほしいかアンケートしたら良いと思います。
40 歳代	女性	将来を担う若い世代(中・高校生)にも参加できる仕組みを構築していったらいいと思う。机上の空論ばかり言う大人はいらない。若い人達がどうしたいか自分たちで未来を切り開いていけるようにしないとだめだ。
40 歳代	女性	市長のマニフェストに犬・猫(生き物)との共存が無く、悲観しました。2014、成長、④子どもの個性を育む教育に欠かせない一つに生き物と触れ合う事、なぜ、野良猫や犬が多いのか、命を蔑ろにしては、いけないことを学ぶために、地域猫への活性化をもっと切に考えてほしいと思います。
40 歳代	女性	高齢者、障がい者、子ども等すべての人々が住みやすい「共生社会の実現」のためには、どうすることがよいのかと考えております。まずは市民一人ひとりの理解が必要なのでしょうか？ 匠瑳市が他の市町村の見本となるように、市民の意識を高めるために、何かよい方法はないでしょうか？ 匠瑳市の 12 地区のそれぞれから意見をまとめて出していただくのはどうでしょうか。又は学校を通して市政に対して意見を出してもらおうのはどうでしょうか。
40 歳代	女性	まちづくりが行政だけの一人歩きにならないように協働のまちづくりになることを望みます。子ども達、お年寄りたち、若い大人たちすべてが住みやすい、楽しいまちになることを望みます。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
40 歳代	女性	いきなりのアンケートで、具体的にどのようにしていきたいのかもわからないので、特に意見や提案はありませんが、もっと活気のある市になったらうれしいです。
40 歳代	女性	将来を担う「子」を育てるためにもっと行政が中心となり、協力してほしい。例えば、子育てをしながら働きたい女性がいるのに、「子どもが具合が悪くなると、預かってもらえるところがなく働けない」という事がないように、匝瑳市にも「病児保育」に取り組んでいただきたいです。もっとも女性も働きやすい街づくりに力を入れてください。よろしくお願いします。
40 歳代	女性	正直、時間を作って参加していくことは難しいが、情報として、知っているだけでも匝瑳市との距離感が縮まるのではないかと思います。
40 歳代	女性	外の人々が来なくなるようなまちづくりが大事だと思います。
40 歳代	女性	市民が主役のまちづくりと言いたいなら、もっと市民の状態や声を聞いた方が良くと思います。一部だけ盛り上がっててもっと市全体を見直してみてください。税金を使うところとか、優先順位とか、市民の声は届いているのでしょうか。最近テレビ等でいろいろな場所で市民が主役のまちづくりなどやっていますよね、そういうのを参考にしたら良いと思います。いろいろやることも良いと思いますが、他の地域に住む友達とかに、最近匝瑳市メジャーになってきたね、読める人増えたね、とか、住みたくなるようなまちにしてください。よろしくお願いします。
40 歳代	女性	協働と言いつつ、行政の仕事を市民に投げないでほしい。予算内で小ぢんまりとやるしかないと思う。
50 歳代	男性	自衛隊の駐屯地や公共の施設などを誘致するなど、市民の人口を増やして市税を増やして、市民サービスの向上を目指しては。
50 歳代	男性	総合病院をお願いします。
50 歳代	男性	市内に若い方が働ける場所を多くしてもらいたいです。未来の超高齢化を防ぐため。
50 歳代	女性	行政が努力しても市民に届かなかったり、わかってはいても忙しさにまぎれ、協力できなかつたりで、すれ違いが多いと感じる。私の知っている限りがすべてではないので、動いている方はたくさんいらっしゃるのですが、多分興味を持ってない、知ろうとしない人の方が多いのではと思います。
50 歳代	女性	引越してきて、車の運転ができないと不便が大きい。 食のコンテスト…名産品 花のコンテスト…町の美化 町の中心地さみしい。 お願い:まちづくりをされる方に、市内循環バスに乗って頂き、サークル活動、通院、通学を体験していただきたい。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
50 歳代	女性	まず、だんだん寂しくなってきた商店街をにぎやかにしてほしい。食事も旭市へ行くことが多いので、地元をもっと利用したい。自宅近くの事だと、まず街灯をつけてほしい。道路が暗い。
50 歳代	女性	もう少し雇用の充実をはかってもらいたい。匠瑳市全体は若い人がみんなとってよいほど外に出てしまって、お年寄りが多くなっています。それではいくらいろいろと力を入れても発展していかず、地元のお店もなくなってしまって、だんだんさびれていくばかりです。
50 歳代	女性	このテーマについて協働のまちづくりの推進ですが、匠瑳市に魅力がないこと、子どもが増えたとしても将来的に仕事がなく、どんどん都会に出てしまうこと、今のままでは人口が(若い人)減っていく一方、年寄りのまちというイメージです。1 月に成田市のまちづくりをテーマにした企画に参加しましたが、もっと活気がありました。もっと他の地域を参考に考えるべきだと思います。
50 歳代	女性	匠瑳市全体に活気がない。
50 歳代	女性	持ち家である場合は、市の情報が判ると思うが、マンション、アパートに住まいの方は全くわかるすべがないと思う。市民としての存在を市ではどう思っているのか。協力したくてもできないのが現状と思う。選挙権は平等に来て、求めるだけでは協力もできないのではないかと思う。
50 歳代	女性	地域活動が活発な地区があると聞かすが、現在自分の住む地区では、全くそんなことはない。地区のカラオケ大会や芸能大会は一部の人の楽しみ。また、地区民が力を合わせて何かボランティア活動があるわけでもなく、よそよそしい感じで、共に何かをするという雰囲気ではない。もっとリーダーシップをとる方がいれば、活性化するように思う。市の施策や動きも、見えづらいうように思う。
50 歳代	女性	行政は就業時間外、休日等も目を配るべき。学校 PTA は道徳教育を重要視すべき。
50 歳代	女性	選挙の時は大騒ぎなのに、あとは何も無い。田舎だなんて感じ。
60 歳代	男性	その前に他県から来た人からは、市民のマナーの悪さが目につく。車に乗る人にしたら意地悪としか思えない行動をする。その中には明らかに違反をしている人が数多くいる。あまりにもひどいと思う。
60 歳代	男性	がんばってください。今年 2 月、旭市より匠瑳市に転入しましたが(家を新築したもので)、旭市より何か元気がない！祭以外には。
60 歳代	男性	行政や自治会が、一般市民ともっと会話を。
60 歳代	男性	匠瑳市は、住む地域としては申し分のない環境かと思いませんか？活動については、もう一歩なのかなと感じられます。(切望事項⇒他地域との交流・研修) 何が匠瑳市にとって必要かを学ぶことは重要ではないでしょうか。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
60 歳代	男性	行政が中心になり、仕事のできる場所を作ってほしいです。成田まで行かなくても仕事が近くに欲しい。民間企業をもっともっと保護していくことを考えてほしい。新川のまわりのソーラー下のザンドを調べてほしい。何がどこから来たものかわからない。いようのザンドのように思える。
60 歳代	男性	指定ゴミ袋を改良した方がいいです。小さすぎ、高すぎます。
60 歳代	女性	全国市町村についての協働まちづくりの情報を参考にして、まちづくりしたらいかがか。
60 歳代	女性	市民全体に(人、金、もの)情報がきめ細かく行きわたることを希望します。現状は少し偏っていると思います。
60 歳代	女性	各地区の民生員を 60 歳の方に替え、もう一度お年寄りの地区の人数を確認し、少しでも元気でいられるようにする。また、介護を必要としている人は地区にどれくらいいるか、手伝える人はいるのか、地区でお互いに助けられるようにする。
60 歳代	女性	現地域においては、老人の主張が強く、新しいことを改革しようにもできない。良いことであっても口を閉ざすのが現実である。
60 歳代	女性	他の市町村を真似ない、匝瑳市独自のまちづくりを希望します。若い人達が住みつく、子どもづくりなどへの助成金など、若者の流出を防ぐまちづくりを希望します。
60 歳代	女性	責任を持つ国、家、部、町、市それぞれ役割を持つ、責任をとる。地域活性化出来れば、市も黒字となるはず。
60 歳代	女性	今回の内容と関係ないかもしれないが、市民バスの経路、時間、あまり役に立たない。ふれあいパークにも行って、買い物、食事、ひまつぶしなど、時間的にできなくなったとお年寄りの話が耳に入る。
60 歳代	女性	・匝瑳市はこれと言って特色のない市だと思う。 ・住んでいてよかったと思える市民に思いやりのある市にしてほしい。 ・市民の声を聴いてほしい。
60 歳代	女性	市民ひとりひとりの意見を聞いていたのでは話がまとまらないと思います。行政が先を見据えた方針でリーダーシップを発揮すべきであると思います。今、市民が安全、健康でいられるのも、匝瑳市のしっかりした行政のおかげと感謝しております。市民は行政に協力しながら、成長してゆくべきと私は思います。
60 歳代	女性	・まじめに義務を果たしていても、側溝が無くて今の時代の生活水準の最低限の水洗トイレや生活排水ができないで困っている人々のことをまず先に考えるべきではないでしょうか。身近なことが 改善されれば、協力する気持ちも出てくるのではないのでしょうか。 ・市道なのに、管理が悪く、通れない状態になっている道路もあります。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
60 歳代	女性	道端に犬のフン禁止という看板が立っているのに、周りにフンが落ちていたり、生ごみ、カン、ビンなど一つの袋に入れて捨ててあったりしているのを目にするとゴミ出しの決まりが守られていないようで人としてのモラルに欠けていると思います。
60 歳代	女性	行政と各地域の住民とが内容豊富なミーティングを年に何度か開いてほしい。わかりやすい内容で、参加しやすい体制づくりを。
60 歳代	女性	市民が協働まちづくりに関心、意欲をもつためには、市への愛着、誇りが必要です。市の玄関・顔である八日市場駅の衰退には悲しく、いやになります。横芝駅、佐原駅は行政の働きかけによって利便性、快適性が向上しました。ご検討くださるよう、お願い致します。
60 歳代	女性	子どもからシニアまでの意見を聞く機会があったら良いと思う。生活する事でいっぱいの人がいることもわかってほしい。
60 歳代	女性	市内のいたるところで捨てられたゴミが目立ちます。我が家の後ろの道路でも拾ったすぐ後からまた捨てられるといった状態です。”きれいなまちづくり”を目指して行政も力を入れてほしいと思います。
60 歳代	女性	誰でもが気軽にボランティア活動に参加でき、資格を持っていなくても手助けができるようなことが少ない。子どものない家庭は横とのつながりもなく、うわさでしか聞くことができない。高齢化にともない、バスなどの対応もしてほしい。「まち」に魅力がない。
60 歳代	女性	今の世の中、自分さえよければ他の人はどうなっても良い…このような考え方の人が多いのではないのでしょうか。何か事を始めたとしても、その場限りではなく、継続してのまちづくりがされますよう、願います。
60 歳代	女性	今は近所の交流もほとんどなく寂しいです。以前みたいに助け合うことができたらと思います。若い人が少なく、60～70 歳前後の人ばかりです。
60 歳代	女性	活動の内容とか知らない市民が多いのではないのでしょうか。具体的に市民に協力してもらうのであれば、公表すべきではないのでしょうか。 ・市職員の皆様へお願い。顔を合わせても挨拶しない方が多く見かけられます。改善してほしいですネ。
60 歳代	女性	市民と行政だけではまちづくりはできない。企業誘致、市、県議はもっと考え仕事をし、まちおこし、駅をもっとかっせいかし、目玉商品、特産品、特産物をつくり、若い人達に農業へ目を向けさせる。限界集落を少しでもなくすため。
60 歳代	女性	ますます高齢者が増えるので、その人たちが気楽に参加できる機会ができればいいと思います。
60 歳代	女性	共通した課題をテーマにして、健康、食生活、文化の継承を伝えて行ってほしい！よろしくお願い致します。
60 歳代	-	いつもコンビニを利用する。もっとコンビニを行政に取り入れてもらいたい。市民の意見も行政の情報も見られる方法があったらいいと考える。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
70 歳以上	男性	・今までの自治会は全く役に立っていない。シニアクラブも同様今後良くなる可能性は全くなし。したがって、行政と自治体が一体ではダメ。 ・新しい組織を活かすことが大切(クラブ、ボランティア等)特に高齢者中心に高齢者のためによるまちづくりにするべし。そこに人材も知恵も金もある。
70 歳以上	男性	縦割り行政ではなく、官民一体となって情報や意見を出し合って行動することが大切ではないでしょうか。
70 歳以上	男性	自分が住んでいる集落で成人した男女が結婚しない人が多くいます。行政が積極的であれば市の活性化につながると思います。昔先輩に子孫を残すことも財産と言われました。私もそう思います。
70 歳以上	男性	意見や提案をインパクトのあるものにしようとおもえば、一つの例として、外部からの知恵(専門家でなくても)を借用すればある程度方向性が見えてくるのではと考えます。市内居住者の意見や提案はどうしても内向になりがちで、現在は日本各地でどうすれば活性化できるかの時代です。課題は人選と、継続しようとする意識です。
70 歳以上	女性	地域の環境を整えるような活動であればみんなが参加できるのでは。
70 歳以上	女性	元気な若い世代の人達に頑張って頂きたいと思う。若いリーダーを育ててください。
70 歳以上	女性	匝瑳市の人口を増やすための施策を積極的に企画・立案し、子育てを楽しく安全にできるかんきょうづくりを展開し、魅力ある市づくりを企画していただきたい。
70 歳以上	女性	一部の顔、利益のために下々まで情報が伝わらない地域もある。リーダーシップを限定する際は一考を要する。
70 歳以上	女性	私は豊栄に住んでおります。地元の人のおかげで藤の花がだいぶん大きくきれいに咲くようになりました。人も大勢がきてくれておりますが、道路幅が無く、車のすれちがいできません。主要な道を太くしてほしいです。
70 歳以上	女性	八日市駅前が殺風景で魅力がないので他市から来た客が何かお土産でも買いたいと思っても、何もないと不満の声が聞こえる。そこで、個人の意見として駅の西側の空き地に匝瑳市の特産品のお土産店、飲食店があると人の出入りで賑やかになるのではないかと思います。行政さん、がんばってください。
70 歳以上	女性	あまり出ていかず、家にいても協力できること…物作りなど…があれば参加したいと思います。
70 歳以上	女性	現在は体調が悪く、何も参加していません。できる事なら、シニア世代として町で気安く参加できる体操、ゲーム、カラオケ、絵手紙、折り紙など、そんな教室が出来たらいいなと思っています。私は今アリーナで毎日歩いています。(1時間ほど)

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
70 歳以上	女性	協働という言葉を知っているかと私も 30 名くらいの方に聞いていました。ほとんどの方は初めて聞いたとの返事でした。(部落の老人クラブと、知り合いの方です。)
70 歳以上	女性	まちづくりは中央地区が中心のように思う。他の地区の事を考えてほしい。例:よかっぺまつり等は地区でもやったらどうですか。順番を決めてやればいいと思う。各学校単位でもいいのではないのでしょうか。
70 歳以上	女性	街中がシャッター通りになっているのでさみしい。バスが駅止まり、市役所止まりではとても不便です。商店街に用事があっても駅から街中まで歩くのは大変です。東本町のバス停を止まるようにしてください。
70 歳以上	女性	最近私が思っている事は、他の町、例えば多古、横芝、光町より何か遅れている、活性化されていない気がします。是非匝瑳市も頑張ってもらいたいとお願い致します。
70 歳以上	女性	若者が教育等の為、一時居住地を離れてもまた帰って生活できるような(職場)勤務場所があると良いですね。高齢社会、空き家が目立つのが心配です。早急な対策を。
70 歳以上	女性	行政は、前例に従って計画がなされているから進歩がないです。
-	男性	意見が伝わらないようですね。
-	-	社協とか表面的な活動としかみえない。本当に必要なのかと思う。メンバーとか個々に見ると相応しいとは思えない人が多々いる。隣人同士の挨拶もろくにできない人物が役を引き受けていたりする。人間的に疑問に思う人物ではなく、しっかりした人選をしてほしいと願う。
-	-	2030 年までに消滅する危機に瀕しているわが匝瑳市。もはや仲よしクラブ的な市民「協働:レベルの発想・施策でも座して死すのみです。幸いなことに市民病院再建(建て替え)が市政の柱に捉えられています。この市民病院建設計画を起爆剤として、専門機関の協力を得て市民も拠出できる病院建設ファンド(基金)を創設、市の建設予算と国の地方創生補助金を併せて、必要十分な建設資金を確保する。 建設計画において、一般診療科に加えて、例えば再生医療の研究臨床部局の創設など、高度医療部門を設けて、国の内外から診療希望者を受け入れる。そのため、付帯施設並びに医療の職場・職務環境条件の充実、看護師等のキャリアアップ研修、出産・育児支援制度などを整備充実する。さらには、新年ながら在学又は留学医学生に対する継続的な支援制度も設け、勤務医師の安全確保を図る。 「地域内外の諸資源(人・金・もの・情報など)を幅広く活用し」「市民と行政の協働」による人口減を押しとどめ、まちの活力を取り戻す「決断と実行の時」はまさに「今でしょう」。市長の選考するダイナミックなプロジェクトチームの編成とアクションに市民も協力できることでしょう。

年齢	性別	問 10 協働のまちづくりに関するご意見・ご提案
-	-	<p>私たちが育った時代は、家族が大勢で近所づきあいもそこそこ、子ども同士も毎日暗くなるまで外で遊んで充実していた。近所につけば、豆腐屋さん、八百屋さん、魚屋さん、肉屋さん、乾物屋さん、お店がたくさんあって、町全体が活気がありました。現在は大型店が出来、全国的にそうですが、商店が減って活気がありません。人間関係が希薄で、これからの子ども達は大変だと思う。</p> <p>・地域活動に積極的に参加する。たくさんの人達とかかわることで生活が活性化される。自己努力もする。</p>
-	-	<p>居住している場に魅力や愛着の持てることが大切なことだと思う。価値観の違う人達が協働していくのはなかなかむずかしいが、これからの子ども達のため、素敵な風土づくりをしていきたい。</p>

Ⅲ アンケート調査票

～市民と行政が協働し、市民が主役のまちをつくるために～

匝瑳市 市民協働指針 策定のための 市民意識調査

ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。
匝瑳市では、市の最上位計画である総合計画の基本目標の一つ「市民と行政が協働し、市民が主役のまちをつくる」の実現に向け、協働のまちづくりを推進するためのガイドラインとなる「匝瑳市市民協働指針」の策定を進めています。

本調査は、指針の策定にあたり、市内にお住まいの方の中から、2,000名を無作為に抽出させていただき、ご意見をお聞かせ願いたく実施するものです。

皆様からの回答はすべて統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

平成27年5月

匝瑳市長 太田 安規

～協働ってなに？～

※「協働とは、市民、地域活動団体、企業・事業所、関係機関、行政などが、様々な目的を共有しながら連携することによって、地域内外の諸資源（人・金・もの・情報など）をできるだけ幅広く活かしていくまちづくりを進めることです」

[記入上の注意]

- 1 回答は無記名でお願いします。
- 2 回答は、設問ごとに（1つに○）、（2つまで○）など、それぞれ指定されていますので、各設問の回答方法に従って回答してください。

○は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）

- 3 ご記入いただいた調査票を6月11日（木）までに返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストへご投函ください。
- 4 調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

匝瑳市役所 企画課 企画調整班

電話: 0479-73-0081 FAX: 0479-72-1114

E-mail: k-kikaku@city.sosa.lg.jp

はじめに

問1 あなた自身について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。
(それぞれ1つに○)

(1) 性別	1 男性	2 女性	
(2) 年齢	1 10・20歳代 3 40歳代 5 60歳代	2 30歳代 4 50歳代 6 70歳以上	
(3) 職業	1 農林漁業 2 商工・サービス・飲食・自由業 3 会社員・団体職員・公務員 4 学生 5 家事(パートタイム含む) 6 無職 7 その他()		
(4) 居住地区	1 中央地区 4 匝瑳地区 7 飯高地区 10 椿海地区	2 豊栄地区 5 豊和地区 8 共興地区 11 野田地区	3 須賀地区 6 吉田地区 9 平和地区 12 栄地区
(5) 現在の地域に住んでいる状況	1 生まれてからずっと市内に住んでいる 2 匝瑳市の出身だが、市外での居住経験がある 3 県内の他の市町村出身である 4 県外出身である		

地域活動への参加状況について

問2 あなたは、まちづくりや地域づくりに関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 とても関心がある | 2 ある程度関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 まったく関心がない |

問3 あなたが住んでいる地域は、地域活動が盛んな地域だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 とても盛んだと思う | 2 ある程度盛んだと思う |
| 3 あまり盛んではないと思う | 4 まったく盛んではないと思う |
| 5 わからない | |

問4 あなたは、地域の活動に参加していますか。(1つに○)

- | | | |
|------------------------|---|-------------|
| 1 よく参加している | → | 問 4-1~4-3 へ |
| 2 たまに参加している | → | 問 4-1~4-3 へ |
| 3 以前は参加していたが、今は参加していない | → | 問 4-1~4-3 へ |
| 4 参加したことがない | → | 問 4-4 へ |

問 4-1 から問 4-3 は、問 4 で「(1~3) 参加している(していた)」と回答した方におうかがいします。

問 4-1 どのような団体等の活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------|
| 1 自治会 |
| 2 シニアクラブ |
| 3 子ども会 |
| 4 社会福祉協議会 |
| 5 PTA |
| 6 地域のスポーツクラブ |
| 7 ボランティア団体・NPO |
| 8 消防団・自主防災組織 |
| 9 その他 () |

問4-2 どのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 清掃活動・美化活動
- 2 リサイクル活動
- 3 学校支援活動・地域学習活動
- 4 スポーツ活動・大会
- 5 地域の文化継承・保護活動
- 6 観光ボランティア
- 7 福祉ボランティア
- 8 見守り・防犯活動
- 9 防災活動
- 10 その他()

問4-3 参加したきっかけは何ですか。(主なもの3つまでに○)

- 1 友人・知人に誘われたから
- 2 活動内容が楽しそうだったから
- 3 自分のためになりそうだったから
- 4 よりよい地域づくりに貢献したいから
- 5 地域とのつながりを持っていたいから
- 6 持ち回りや当番などで参加しなければならなかったから
- 7 その他()

問4-4 は、問4で「4 参加したことがない」と回答した方におうかがいします。

問4-4 参加していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 活動や行事の内容に興味や関心がない
- 2 何を、いつ、どこでやっているのかわからない
- 3 病気や障害などの理由で参加できない
- 4 知り合いで参加する人がいない
- 5 仕事や家事、育児、介護など、他にやることがあって忙しい
- 6 自分の趣味や余暇活動を優先したい
- 7 活動するための技術や能力がない
- 8 付き合いがわずらわしい
- 9 現在の活動内容に賛同できない
- 10 その他()

協働に対する考え方について

問5 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。(1つに○)

- 1 以前から内容まで知っていた
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らなかった
- 3 初めて聞いた

問6 あなたは、まちづくりに関して、以下のことをしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 市長の所信表明・マニフェストを見たことがある
- 2 総合計画など市政に関する各種計画を見たことがある
- 3 パブリックコメントに意見を出したことがある
- 4 「市長への手紙」で意見・提案をしたことがある
- 5 タウンミーティングに参加したことがある
- 6 議会を傍聴したことがある
- 7 計画の策定委員に公募したことがある
- 8 その他()

問7 あなたは、匝瑳市では、現在、協働によるまちづくりが推進されていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 とても推進されていると思う | 2 ある程度推進されていると思う |
| 3 あまり推進されていないと思う | 4 まったく推進されていないと思う |
| 5 わからない | |

問8 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

1 地域活動の拠点を充実させる
2 地域活動団体同士の交流促進や研修を行う
3 市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する
4 市民・地域の意見を聞く機会を充実させる
5 市民と行政とが話し合う機会を充実させる
6 市民や団体等が企画提案できる機会を充実させる
7 地域の自主性に任せる事業を増やす(地域への事業委託、自主事業の拡大など)
8 市民自身が主体的に行う活動を活性化する(自治会、ボランティアなど)
9 ボランティア・NPO等の組織・団体を育成・支援する
10 その他()

問9 市民あるいは団体同士が相互に連携し合って活動していくためには、どこがリーダーシップを発揮すべきだと思いますか。(主なもの3つまでに○)

1 自治会	2 社会福祉協議会
3 ボランティア・NPO	4 学校・PTA
5 民間企業	6 専門家
7 行政	8 公益法人・団体
9 その他()	

問10 協働のまちづくりについてのご意見・ご提案がありましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。